法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-11-13

徳之島井之川方言の語彙

中本,正智

```
(出版者 / Publisher)
法政大学沖縄文化研究所
(雑誌名 / Journal or Publication Title)
琉球の方言
(巻 / Volume)
5
(開始ページ / Start Page)
7
(終了ページ / End Page)
67
(発行年 / Year)
1979-10-31
(URL)
https://doi.org/10.15002/00012747
```

徳之島井之川方言の語彙

中 本 īE. 智

(後頭部にのび

語彙その1. 名 詞

karadʒi → karadzï のように,音韻転倒によっ

て変化した語である。意味も「頭 」から「髪 」

を表わすように変化した。

(1) 身体関係の語彙

体の部分に関する語彙

頭 karadzinu nugïrun (髪が抜ける) 7ukkan (頭) ∫irag ï (白髮) 7ukkan ?itfa:n (頭が痛い) Jirag ïnu mï tun (白髪が生えて ?ukkan jami (頭痛) いる) ?ukkan juta:n (頭が良い) kadzimi (後頭部) (頭をたたく) 7ukkan 7utsï jundura karadzï karadzï saki (髪を梳く)。 るとんがった毛) sakiは「さばく(捌)」の連用形であ tsikjuru karadzi (ちぢれ毛) るが,終止的に用いられている。沖縄で matsidzi (つむじ)。「真頂」と同じ。 matsïdzï (二つ巻き) t⁷atsï は sabatJunという。 kiri (髪を切る,刈るの Çidari matsïdzï (左巻き) karadzï karadzi kiri (髪を刈る) () hagi (禿頭) tʃ⁹unkosi (人の頭蓋骨) 7ukkan matsïdzï (脳天)。「真頂」に対応する形。 Siraфё (しらくも) su:ruki (ひよめき)。沖縄では φuːrut√i 7ikki (ふけ)。魚の「鱗」も同じ。 という。ハ行音がサ行音化したもの。 dzi: 7amba (脳味噌)。dzi:は「髄」, (頭髪)。この語は「かしら(頭) karadzï ?amba は「油」である。 |に対応する語で、 * ka∫ira→ kara∫i→ ?usugï (頭髪の薄い者)

hagïruri (禿げる)

```
turimi (片目は大きく片目が小さい不揃い
菑
ts<sup>7</sup>ïra (顏)
                                 の目 )
    sïrankao (知らぬ顔)
                                ssa : gari (目をつむる)
kata ts<sup>7</sup>ira (頰)。「片顔」ということ。
                                    mï: ssa:gari (目をつむる)
                                    wanga mïː ssaːgari (私が目を
?utugë (顎)
                                    つむる)
mintsabu ( 頻骨 )
    sigari mintsabu (左の頻骨)
                                mi i jami (眼病)
                                 midani (瞳) mizdazni ともいう。眼球
    migiri mint∫abu
                  (右の頻骨)
 ※「額」は思い出せない。
                                 と同語をこたえた。
mimaju (眉)「眉毛」も同じ。
                                 kuruminaku (黒目)
    mima i u t<sup>7</sup>anna (眉間)
                                 sïruminaku (自目)
sïwa (しわ)。額や顔にあるしわ。
                                 ?aːmï (赤目)。充血した目。
jekubo (えくぼ)。共通語の移入。
                                    miinu ?aihan (目が赤い)
kumïkan (こめかみ)
                                minko (まぶた)。「目の皮」という造語。
mimbukuru (おたふく)。「耳ふくれ」か。
                                     saiminkoi (下のまぶた)
hoːkaburi ( 頰かむり )
                                  ※「目の縁」は無回答。
                                migasa (目頭)
                                 t?iːtsï mïŋkoː (一重まぶた)。「一つ
 目
mïː
    (目)
                                 目の皮」という表現。
    madzigi (まつげ)
                                 t<sup>7</sup>aːtsï mïŋkoː (二重まぶた)。「二つ
    madzigi:nu naga:han (まつげが
                                 目の皮し。
    長い)
                                 ?atsï mïnko: (厚いまぶた)
    mi tsuki (目つき)
                                 tarimi (たれ目)
    mïːtsukïnu ?otoroha (目つきが
                                mi zhagi (ただれ目)
     こわい)
                                 katami (片目)
     mi nu daro han (目がだるい)。
                                 jumaku (鳥目)
      眠気の時の目の様子をいう。
                                 tsïkjamï (近眼)
     miːnu ?agumaha (目が疲れる)
                                mïːmudu∫i (老眼)。最近は roːgan という。
     miːdaːni (眼球)
                                 naːmï (やぶにらみ)
        mi'da() ninu
                   Φëːha
                         (眼が
                                ?imbë (ものもらい)
        大きい)
                                             7idxiti (ものもらいが出た)
     mï :da( : )ninu k²wa :ha
                        (眼が小
                                 mikkundzi (盲)。「目くずれ」という造語。
                                 「くずれ」は生長などがとまり,のびなやむこと
     さい)
     ?uːmï (大きい目)
                                  をいう。
     k<sup>7</sup>waːmï (小さい目)
                                 harimikkwan (あきめくら)
```

```
toraho:mu (トラホーム)
                                      している)
nada (涙)
                                    hanadari (鼻だれ)
         jassa (涙もろい)。「涙易
    nada
                                hanadzii
                                      (鼻血)
     しさ」という造語。
                                ?a:bana: (赤鼻)
miŋkusu (目やに)
                                hanakusu (鼻糞)
                 (目やにを取ろう)
    mïnku∫u turadi
                                kusa Iha (くさい。悪いにおいに対して)
mi?utsi (まばたき)
                                kabaha (良いにおいがする)
    mï?utsï Jun (まばたきをする)
                                nuki (いびき)
    mïː sikjarowa (まぶしい)
                                    nuki sï (いびきをかく)
                                7iki (息)
koltinmigurowa (めまい)。
 tatsïgurami 急に立ってめまいがすること。
                                    ?iki
                                         tsikjun (息をする)
midamari (不眠症)
mïkkuŋgi (めかくし)
                                 耳
mintsiri (目に入ったゴミ)
                                min((耳)
    mintsirinu ?ittsi (目にゴミが入
                                    min kudziri
                                               (耳をほじる)
    った)
                                            Jun (耳鳴りがする)
                                    minnari
njan фuri (見て見ぬふり)
                                    min jami (耳が痛い)
    ∫ikjari (目をむく。叱る意)
                                    minnu tuxan (耳が遠い)
mï I
                                    minnumi: (耳の穴)
 鼻
                                mintari (耳たぶ)
     (鼻)
hana
                                minnuku∫u (耳の垢,耳の糞)
    hananu talhal (鼻が高い)
                                mindgani (耳だれ)
    takabana (高鼻)
                                minkundaa (つんぼ)
    hana sire (低鼻)
                                tubimin (早耳,良く聞く耳)
    hana k<sup>1</sup>undziti (鼻がつまっている)
    hana sïri (鼻をひる)。 hana
                                 sïtt∫ori (鼻をひっている)
                                kutsi (□)
                                     ?wa:dziba (上唇)
    hanaŋkusu turi (鼻のくそを取る)
    hanamminu фëːha (鼻の穴が大きい)
                                            (下唇)
                                    sa : dzi ba
    hananu
         saki (鼻の先)
                                    ※「総称」なし。 siba は「舌」の意
    hanammi (鼻の穴)
                                    に変化している。
    hanammi sigi (鼻の穴の毛,鼻毛)
                                ∫igi (髯)
    hanasïru (鼻水)。 hanasïru
                          sïburi
                                ?utugë
                                      ∫igi
                                           (顎)
    (鼻を取れ)
                                     Jigi (口髯)
                                hana
         hanasïru tari (鼻水をたら
                                       (どもり)
                                φutsikë
```

```
juzsï
     ( 啞 )。古語の「おふし」に対応す
                                  k<sup>1</sup> watti (くわえる)。k<sup>1</sup> waruri ともいう。
る形。
                                       (吐く)。 hakun, hakuri ともいう。
                                  haki
kutsï k<sup>1</sup>ui (口をとじる)
                                  hasisi (歯茎)
kutsi tugarasi (口をとがらす)
kutsï hagï (口の側がはげる)
                                  kui (声)
dubukasi (ほらふき)
                                      ?u :gui
                                             ?idxatsi (大声を出して
?ï:фuka∫unt∫u (よくしゃべる人)
                                      いる)
sibase (兎唇)
                                      kui. kikitJaha (声を聞きたい)
tsidzu (唾)
                                      ?iu*sigui (小声)
kasïguri (痰)
                                  hanakomun (鼻声)
siba (舌)
                                  kutsibui (指笛)
    siba k<sup>?</sup>wekkiri (舌をかむ)
                                      karijubi (口笛)
    siba
          nuqidasi (舌を出す)
                                  kui
                                      kariti (声が枯れる)
?adzi (味)
                                  kuinu
                                        nengo nati (声がなくなって)
nambi (なめる)。終止形には nambjun,
                                  misegui (二才声)
nambjuri もある。
                                  giːtsï (しゃっくり)
                                  ?akubi (あくび)
ha: (歯)
    ha: jami (歯がいたい)
                                  tʃuːkuise (ただの咳払い)
    hax kë ri (歯がかけている)
                                  ?iki ggi (風邪のときの咳)
më ibai (前歯)
                                  tsï!haki (げっぷ)
                                  ?u∫u (悪口)
φuba (奥歯)
ki x ba ( 犬歯 )
                                      ?u∫u ?juri (悪口をいう)
ha?utfagi (出っ歯)
                                  顎
?adiba (歯並みからはずれて生えた歯)
musiba (虫歯)
                                  ?utugë (顎)。「顎先」のこともいう。
ha: ?uiri (歯をうえる)
                                  首
?iriba (入歯)
hagi∫in (歯ぎしり)
                                  k<sup>7</sup>ubi (首)
haŋku∫u (歯くそ)
                                               (長首)
                                      nagak<sup>9</sup>ubi
                                      kamek<sup>9</sup>ubi (短い首)
ka:∫iŋgi (嚙みこなす)
kadziri (かじる)
                                  kubisïdzï (首筋)
                                   ※「うなじ」は無回答。
kuit irasi (食い散らす)
                                  jundurakarad3i (とんがった毛)
nabiri (なめる)。猫などが舌を出して
なめる。
                                  nudi (喉)
simbi (なめる)。飴玉などをなめる。
                                  nudinu ko ki ti (喉がかわいている)
```

kate (首が傾いている) kubi katadï (片手) kubi katett (首が傾いている人) ro!ti (両手) kubi k[?]ungi (首つり) ti: kirja (手がきれてなくなった人) kadzimmi (ぼんのくぼ) tisaguri (手さぐり) gara (喉仏) tindja (手首から先の全体) nubitsinogi (喉彦) simmami (手に出来るたこ) kubi (禁) tiːnu siwa (指紋) tinko (手の甲) tinwata: (手の平) 眉 kata (肩) tiːnu wariri (手のひびわれ) katanu kozti (肩がこっている) sïninu wariri (足のひびわれ) kembiki (けんびき)。共通語の移入。 tipkabu (げんこつ) mi∫igebuni (かいがら骨) tinkabu kambasi (げんこつく わせる) 丰 mingi (つかむ)。鳥や魚を「つかまえ ti': (手) る」にもいう。 jungwidi (汚れている手) tii: saniri (手を後へひねる)。「た ?udi (腕)。下膊の意にもなる。 おる |などを「しぼる」のは siburi という。 kainanniguri (上膊) ?udï ?usï((腕相撲)。「腕押し」と tindja (手平) いう表現。 ti**ŋ**kubi (手首) ti kumi (腕組み) tsige (関節)。手首や肘の関節の部分を tsikjara (腕力,力) 表わす。 tiː sigi (腕の毛) ?ïbï nubasï (指をのばす) фïdai (肘) ?ïbï magiri (指をまげる) titsikun (こぶし) ?ïbïsakï (指先)。 ?ibinusura ともいう。 titsikun nigiri (こぶしをにぎる) tïː tsïgjoːsa (手をつなぐ,手をひく) surabi (指先に出来る小さいできもの) φuːʔibi (親指) sïmbi (手をしゃぶる) ti : tlusasï?ïbï (人差指) rubasï (手をのばす) tïː na?ïbï (中指)。 * nakajubi → nakaibi tix nusi (手をのせる) → naha ?ibi → na : ?ibi → na ?ibi のように変 tiː mumi (手をもむ) tilssa (手足) 化したもの。 sig jari (左)。 sig jarinti (左手) kusuri?ibï (薬指) sïgjari masari (左まさり) k⁷wa?ibi (小指)。「子指」に対応する形。 ni giri (右)。 nig irintï (右手) ?ïbïmata (指と指の間)

?ïːbinu tlige (指の節)。tsige(節) watajami (腹痛) は tlige と発音することもある。 saːbara (下腹) ?ïbïsa∫i (指さし)。 watabuta (太鼓腹) φu∫u (臍) ?ïbïnu nïguri (指の根元) ※「指紋」は無回答。 φusu tsigi (出生の時,臍を切るこ tsimi (爪) と。糸で臍をくくる) hantiri (臍が切れる。7 ?ibinu tsiminu ?itJan (指の爪がいたい) φu∫unu 日ほどして臍が自然とおちる) tsïmï nugirasï (爪を抜かす) ?uːbu∫u (出臍,大臍ということ) namadzimi haga si (生爪をはがす) surabu (爪が化膿しているもの) gamaku (腰) kusi (背中)。「腰 |に対応する語であるが tsïmïpkusu (爪の垢) 意味は背中全体を表わすように変化している。 tsïnkiri (つねる) hana sa:gi (鼻をつまむ) kusi magari (腰がまがる) min Jukki (耳をひっぱる) nagambuni (背骨) semu∫i (せむし)。腰のまがった人一般に tsïmï k[?]iri (爪を切る) ?ïːbïsaki (指先) 言う。 sïninu ʔïːbï (爪先)。「脛の指」とい maritamba (尻) maribuni (臀部の骨) う表現。 tumbuni (尾骶骨) mari (肛門) 胴 hoːma (陰門)。新しく sïː が入って来た。 waki (脇) kugi (陰門の毛) wakiga (腋臭) waki sigi (脇毛)。「脇髯」という表現。 φuguri (睾丸) sau (男根)。「竿」は sahoという。 nixgutsi (胸)。「胸口」に対応。 hoːma ∫uri (性交する)。奄美大島では se buni (肋骨) ni:gutsïnu ∫igi (胸毛) sikkwa siro: という。 tsï (乳)。 tsï kamasï (乳を飲ませ) tsikinumun (月経) qudzi (脇の穴) harami (妊娠する)。 haraduri (妊娠し wakibara (脇腹) ている)。 kaorowa (お目出度である) gudzikudziri (くすぐる) harantari (つわり)。 harantari hagugë (くすぐったい)。 hagugëhan と (つわりする) もいう。 midzï?utsï (みぞおち) 内臓 wata (腹) (心臟) mamï ?itfa: (腹がいたい) wata φuka (肺臟)

```
matagui (またぐ)
kimu (肝臓)
 ※「胆のう」は無回答。
                                karajuju (むこう脛)
                                sininukix (脛毛)
kukuru (心)
                                tsitu (腓)
    kimunu kjurahan (心が良い)
                                gabu (くるぶし)
wata (はらわた)
?i (胃)
                                    ?utigabu (内側のくるぶし)
ko:ri (胃液をあげること)
                                    sotogabu (外側のくるぶし)
                                ?adu (踵)
    koːri sïː (にが汁をあげること)
wata (腸)
                                sambja (足の平ったいところ全体、足の甲
sakuriwata (小腸)
                                も含む)
Φuːwata (大腸)
                                sïniwata (足の裏,土ふまずも含まれる)
harakudasï (くだす)
                                sïninusaki (爪先)。 sïnisaki ともいう。
mida (蛔虫)
                                ?ikidʒigeːra∫i (脱臼する)
   midanu taritun (蛔虫がたれている)
                                    sïni ?iki dʒigeːraʃi (脚をちがえる)
?innia (糞)
                                    tï: ?ikidzige rasi (手をちがえる)
    ?innja mari (糞をする)
                                sïni k<sup>1</sup>undzigerrasi (足をくじく)
sībari (小便)
                                 ※「つまずく」は無回答。
    sibari si (小便をする)
                                nergi (びっこ)
marigo (おしめ)
                                    sïni ne:gi (びっこをひく)
   marigo kerri (おしめをかえる)
                                sïnink<sup>7</sup>ubi (足首)
φïː (屁)
                                sankata (足跡)
    φïː sïri (屁をひる)
tsïtsï (乳)
                                  体の全体に関する語彙
    tsïnkutsï (乳首)
jorha (ひもじい)
                                ?aki (垢)。 ?aka ともいう。
   watanu sïri (腹がへる)
                                    ?aki ?utusi (垢をおとす)
kamikkwa (食べすぎ)
                                ?inotsï (命)
wata hatsigo: (腹八分)
                                kix (気)
                                    taŋki (短気)
 脚
                                7ambë (気分)
                                ?ambë wassa (気分が悪い)
sini (脚全体)
mata (股)
                                    ?inotsï kiriri(命が切れる。死ぬ意)
momot<sup>?</sup>abura (腿)
                                    morri ∫i (なくなる)
guki (膝小僧)
                                kao?irunu wassa (顔色が悪い)
magari (膝全体)
                                ?irunu sïruwa (色が白い)
```

```
karada (体)
                               Φukkw ïri (腫れる)
    karadanu tsu:wa (体が強い)
                                   tsïranu фukkwïri (面が腫れる)
                               sija 7ittsan (ばいきんが入った)
    karadanu dukuwa (体が丈夫だ)
du x (体)
                               ?umi (膿)
    du! garuwa (体が軽い)
                                   ?uminu ?jeːri (膿が出る)
                               nibutu (腫物, おでき)
    naldu (空胴,体に何一つ持ってい
    ないこと)
                                   nibutunu ?umi (できものがうむ)
tsïkjara (力)
                                   nibutunu
                                           no:tan (できものが治
    tsïkjara kurabi (力くらべ)
                                   った)
?a∫i (汗)
                               binduku (梅毒)
    ?asisi bitobito (汗でじとじとし
                               kidzï (傷)
    ている)
                                   kirikidzi (切傷)
?a∫ibu (あせも)
                                   ?utsikidzi (打撲傷)
Sirumi (あぶらみ)
                               kiga (怪我する)
7aIniku (赤肉)
                               du! sïri (体をさする)
hada! (肌)
                                   du: nadiri (体をなでる)
nikun (にきび)
                               binta (傷あと、傷の治ったあと)
hoːku∫u (そばかす)
                               kix (毛)
samitari (搔いて皮が白くなっている)
                               ?ubui karadzï (産毛)。むだ毛も同じ。
?ikkitari (皮が鱗のようになっている)
                               tsi: (血)
kussama (皮膚病の一種)。 samï (かい
                                   tsï: darakï (血だらけ)
せん)
                               tsiːsimmami (何豆)
ko: (皮)
                               kusuri (薬)
                                   kusuri numi (薬を飲む)
    tinko: (手の皮)
sïraфё (Lらくも)
                               sïdzïrikusuri (せんじ薬)
                               musikusuri (虫下し)
?aomi (青)
                               suidasi (膏薬)。張って吸い出すということ。
?ada (ほくろ)
                               jakk joku (薬屋)
jonedagu (扁桃腺)
dagu (こぶ)
                               duku (毒)
sïmmamï (手にできるたこ)
                               mja:ko (脈)
midzibukuri (水ぶくれ)
                               kinniku (筋肉)
                               tsï Isïdzï (血筋)
jakidu (やけど)
?jummi (いぼ)
                               φuni (骨)
kussama (あばた)
                               tsige (関節)
                               ∫igkeitsux (神経痛)
harimun (腫物)
```

```
jami (病気)
                                nangisa (やつれる)
kambjoznin (看病人)
                                ?udunki (おどろき)
kitsigai (狂者)
                                nimbi (寝る)。 ?aguma: (ねむい)
                                Φudeːsï (育てる)。「大きくする」とい
kadʒi∫iki (風邪)
φurui (マラリヤ)
                                う表現。
hajari (はやる)
                                kk<sup>1</sup>wa oude si (子を育てる)
                                ?akki (歩く)。終止形は ?akkjun,
nitsi (熱)
sïkitsïkï (ひきつけ)
                                ?akkjuri ともいう。
kugutsï (てんかん)
                                    na: ?akkjun (もう歩く)
    ?arja kugutsï ∫un t∫u (あ
                                hoi (這う)。腹をつけて這うこと。
    の人はてんかん持ちの人)
                                tassaboi (手足をたてたように這う)。
                                四つんばりになって這うこと。
hatsikja (はしか)
kudasi (下痢)
                                ha∫iri (走る)
                                katteju: (飢饉の年)。 kikindusi とも
7isa (医者)
Φutsï (もぐさ)
                                いう。
jatsu (炙)
                                handzikja (いれずみ)
    jatsu jaki (炙をすえる)
                                kasagu (かさぶた)
tsïbu (つぼ,急所)
                                ?imi (夢)
?ubëri (ただれる)
                                    ?imi niːtsi (夢を見た)
    jatsikidziga ?ubëri (炙の傷が
                                nigutu (寝言)
    ただれる)
                                nimbiwarai (寝笑い)
norri (治る)
                                sandzike (急に起きて迷うこと)
mutsikesi (ぶりかえす)
                                nabisi pgo (蒙古班)。「なべへぐろ」の
7iki φukkwësi (息をふきかえす。生
                               こと。昔は幼児が夜外出するときには,
きかえる)
                                2innuk<sup>7</sup>wa といって、額に鍋ずみをつけた。
                                「犬の子」は育ちが良いからそう言った。
ʔi∬oː (一生涯)
m<sup>7</sup>aːriri (生まれる)
ku:ga (卵)
    kuːga nasi (卵を産む)
?ja: (えな)
sïni (死ぬ)。mori∫i (なくなる)
k?weːri (ふとる)。k?weːtarutʃu
(ふとった人)
toːriri (やせる)。 toːrittʃu
(やせた人)
```

(2) 人間関係の語彙

```
wan (私)
                                              ?adsa (養父)
                                        mama
?jax (君,お前)。同輩と目下に対して。
                                              ?ama (まま母)
                                        mama
    ?jakkjax (君たち,お前たち)
                                   mammagwa (親なし子)
    ?iannissimun (お前, 卑語)「お前
                                   ?atuduri (養子, あととり)
     のようなもの」という表現。
                                   ?adza (配偶者の父)
?uri (あなた)。同上に対して。
                                   7ama (配偶者の母)
    ?urita: (あなたたち)
                                   k<sup>7</sup>wa (子)
?antsu (あの人)。?antsugkja (あの人
                                        warengwa (子供)
たち)
                                   ?aːgwa: (赤坊)
tf<sup>?</sup>uː(人)
                                   butagwa (双生児)
jinga (男)
                                   tʃ<sup>2</sup>uːsïdzï m<sup>2</sup>ari (ひとりっ子)。「一粒
    jinganu k<sup>?</sup>wa (男の子)
                                   生まれ」という表現。
wunagur (女)
                                   sire(x) gwa (私生児)
    wunagunu k<sup>7</sup>wa (女の子)
                                   moroigwa (養子, もらい子)
tudzï wutu (夫婦)
                                   jinganuk<sup>7</sup>wa (むすこ)
                                       tso:nan (長男), dzïnan (次男)
tudzi (妻)
     sakiduminu tudzï (先妻)
                                        sannan (三男), jonnan
                                                              (四男)
                                   wunagunuk<sup>7</sup>wa (むすめ)
    7atuduminu tudzï (後妻)
                                       tfo:dao (長女), daidao (次女)
?utu (夫)
                                        sand3o (三女)
?uiamutu (里, 親元)
                                   hatsugwa (初子)
te:tsikjama (家事,針仕事や機織りなど)
suːtumi (こじゅうと)
                                        hatsujinganu k<sup>?</sup>wa (長男)
satu?uja (しゅうと、しゅうとめ)。
                                   simaigwa (末子)
「里親 |に対応する語か。
                                   ?uttJu (おとな)
jum i (嫁)
                                  ts<sup>7</sup>uːnami negk<sup>7</sup>wa (身体に欠陥のある人)
mukudun (婿)。女側から言うことば。
                                   nise (若者)
    - dun は鹿児島方言の影響と思われる。
                                   mëzrë (女童,若い女性)
dusï (友だち)
                                   ?uitt∫u (老人)
?uja (親)
                                   mëːrë (娘)
?ad3a (父)
                                   tusi (年令)
?ama (母)
                                   tʃ<sup>?</sup>uːtusï (同い年)
mama?uja (まま親)
                                   sï:da (年上)。きょうだいの中で男女を問
```

わず年上の者をいう。また一般に年上の者を いう。 7uttu (年下)。きょうだいの中で男女を 問わず年下の者をいう。また一般に年下の者 をいう。 jaː (家) ?uritagaja: (あなたの家) wakk ja ja : (私の家) kine (家族,家庭) jannusi (戸主) kjoide (親戚,兄弟) ?ujamutu (本家) jaːwaːri (分家) ja:wa!tan (分家した) m⁷aga (分家した子供たち,孫) ?udzïsï (先祖) k[?]warm[?]aga (子孫) ?adza (祖父)。 dzï ともいう。 hansarë (祖母)。老女に対する尊称。 自分の祖母には ?an という。 ※「祖父母」の総称は無回答。 ?uidzï: (曾祖父) ?ui?an (曾祖母) ※「曾祖父母」の総称は無回答。 m⁷aga (孫) jinganu m⁷aga (孫むすこ) wunagunu m⁷aga (孫むすめ) m⁷aga (内孫) kii: m⁷aqa (外孫) hatsi m⁷aga (初孫) mata m⁷aga (ひまご) ※「やしゃご」は無回答。 kjo'de (きょうだい)

> jinganu kjozde (男きょうだい) wunagunu kjozde (女のきょうだい)

jixri (女きょうだいからみた男きょうだ い)。「ゑけり」に対応する語。 jiːrin∫oː (ゑけり様) wunari (男きょうだいからみた女きょうだ い)。「をなり」に対応する語。 wunarin so: (をなり様)敬称の - Jo : は鹿児島方言の - ジョ(尉・ 丈)を移入したものと思われる。こ の形は沖縄にはない。 bo! (兄) ?uttu (弟) ?aka (姉) ?uttu (妹) (いとこ) hara∫iki kjo:de matasiki kjoide (またいとこ) wuibox (甥) mild30 (姪) nja: (大叔父) ?uːnjaː (上の叔父) k⁷wa: nja: (下の叔父) bax (大叔母) ?uːbaː (上の叔母) k⁷waibai (下の叔母) nja! (叔父) ba: (叔母) ja: mutsi (嫁ぐ) tudzi kamiri (男の側から見て結婚する こと、妻をもつ) jingadatsï (寡夫) wunagudatsi (寡婦) k⁷wa: muri (子守)

(3) 生物関係の語彙

```
kidamun (獣)
                               ?werganasï (ねずみ)。jumunganasïと
wurmun (雄)
                               も, nïdzïmi ともいう。さとうきびを喰い散ら
mi mun (雌)
                               さないようにと、大晦日,正月にごはんをたい
    wuːduri (雄鶏)
                               てねずみにやった。
    miduri (雌鶏)
                               ?wa: (豚)
    kutix (雄牛)
                                   ?wassi (豚肉)
    ?unan (雌牛)
                                   se * buni (あばら骨)
kamimun (食物一般)
                                   ?oːk²ate buni (足骨,後の豚足)
    ?wammë: (豚の餌)
                                   mi sigebuni (前足の骨)
    ?usïmmë: (牛の餌)
                                   ?waːkaradzibuni (頭骨)。正月3日
   m<sup>7</sup>ammë: (馬の餌)
                                   には裏座敷に豚を屠って頭。足・肉をぶ
    jagimmë: (山羊の餌)
                                   らさげた。正月の一つの飾りであった。
    turimmë: (鶏の餌)
                                   so:dzuke (塩漬)豚肉を保存用に塩
mundani (魚を釣る餌)
                                    漬けしたもの。
kagu (撒き餌)
                               jamasï (猪)
    kagu kamasï (撒き餌をやる)
                                  jamasi 7iri (猪を射る)
tamasi (分,配当された分量)
                               jagi (山羊)
    ?wendamasï ともいう。
                                  tsino (角)
    wa:tamasi (私の分)
                              gund3a (鯨)
    7ja tamasi (君の分)
                                  gundganu ?uba (鯨の尾びれ)
    ?jaːwari (君の分)
                               ?açiru (あひる)
tsïmbi ( 交尾する )
                               ?uguisu (うぐいす)。共通語。
?in (犬)
                               kamo (鴨)
?usaqi (兎)
                               jundura (雀)
?usi (牛)。牧場は少なかったが、牛の角
                               gara (からす)
に焼き印を押して所有を示した。
                               ta: (應)
?uma (馬)
                               turi (鳥,にわとり)
kormori (こうもり)
                                        sïdasï (にわとりが交尾する)
                                   kuga
                                        sïbasï は他の琉球では「孵化す
saru (猿)
mjau (猫)
                                        る一ことを表わす。
                                        ?uso:sï (卵をかえす)
    wumiau (雄猫)
    wërmjau (雌猫)
                                   kagan (鳥のとさか)
```

```
turin si (鳥小屋)
                                saba (鯖)
?wansi (豚小屋)
                                saba
                                     ( 鮫 )
jaginusi (山羊の小屋)
                                tsinu (鯛)
                                    hamakutsibi (白鯛)
m<sup>7</sup>an
   jaduri (馬小屋)
                                taju (どじょう)
7usin jaduri (牛小屋)
                                фuna (鮒)
kago (鳥籠)
                                tubiju (飛魚)
pijo (ひよこ)
                                фudzïsï (ふぐ)
    sïderi (鳥が孵化する)
                                nigijaba (針千本)
hatu (鳩)
                                       (針千本)
                                nigijaba
                                                 niqi は「のぎ」
mintsϊkuφu (ふくろう)
                                 (刺)のこと。沖繩ではアバサーという。
   ふくろうは ko:ko: と鳴く。
?issami (目白)
                                sïkkira (なまこ)
                                ?ibi (海老)
?atu (海鳥の一種。もぐって魚をとる鳥)
tsïdzïra (千鳥)
                                7ikki (鱗)。「ふけ」と同語を用いる。
                                ?udzura (鶉)
garasimata (つばめ)
                                Φïtu (いるか)
                                ?ani (蟻)
jannusi (やもり)
kinogira (とかげ)
                                gadgan (蚊)
?a:tanso (蛙)
                                habïru (蛾)
tabiru (おたまじゃくし)
                                habïru (蝶)。「蛾」と同語を用いる。
kami (鱼)
                                bibigai (しゃこ貝)。 bizbuzgai ともいう。
                                bura (ほら貝)
madzimun (ハブ)
    garasubu (からす蛇)
                                tsontson (ひばり)
    mattibu (赤蛇)
                                hani (羽)
    ?aonudga (青大将)
                                    hanagï (翼)
    kwa:taro (まむし)
                                gata (ばった)
?jux (魚)
                                hai (細)
    ?jummi (魚の身)
                                ?oːbai (青蠅)
    tairo: (大漁)
                                ?weganasi (鼠)。
kadusadzi (むろあじ)
                                    jumunganasi ともいう。
?unagi (鰻)
                                toakin (まぐろ)
katsuo (解)
                                 ※「めだか」は無回答。
                                ?ambamusi (油虫)。大根の葉のうらや
katasïra фennja (かれい)
kingjo (金魚)
                                キャベツなどに居る。
                                jamatumusa (ごきぶり)
koi (鯉)
```

```
?ubzï (うじ)
                                ga∬u (あさり)
kandamusi (芋の葉を食う害虫)
                                hamaguri (はまぐり)
Фudzamusa (芋虫の一種)
                                7ikja (鳥賊)
dzi: musi ( 芋虫の一種 )
                                gatsïtsï (うに)
※「こおろぎ」「こがね虫」「尺取り虫」は
                                ?isoda (車えび)
                                ?ibi (伊勢えび)
無回答。
siran (虱)
                                magarinnja (蜷貝)
tsïa (蟬)
                                    bïtu (蜷貝の一種。沖縄のチンボ
                                    ーラー)
?eːdama (とんぼ)
    ?a:?e:dama (赤とんぼ)
                                    tidara ( 蠎貝の一種。沖縄のチナダ )
    kani ?eːda (鉄色をしたとんぼ)
                                sono! (くらげ)。食用にならない
    dzïraq ko (斑点のあるとんぼ)
                                to: (蛸)。語中の k→φの変化が起こり,
nuːmi (番)
                                ついにkが脱落したもの。
hatsi (蜂)
                                 * tako → taku → taou → tau → to:
    tsiburubatsi (熊蜂)
                               tannja (たにし)
    gïabatsï (ぬか蜂)
                                ?aman (やどかり)
    ?aːbatsï (赤蜂)
                                    φu: ?aman (大やどかり)
    tsïtsïbatsï (土蜂)
                                duφu (尾)
musi (虫)
                                    ?innu duфu (犬の尾)
    musikera ともいう。
                                kaminu kux (亀の甲)
tsinnian (かたつむり)
                                    ganinu kux (蟹の甲)
?aman (やしがに)。「やどかり」も同じ。
                                kiːba (牙)
gani (蟹)
                                kuga (戼)
    「海蟹」として, gasama, ?itsïnukë,
                                ?isodamait(an (かまきり)
    tsïmaguru, jedagan, kimigan (有
                                kïnnusi (木のぼりとかげ)
    毒)などがある。
                                garasimata (つばめ)
    「川蟹」として, korgan, targan,
                                ?isïsïbusï (せきれい)
    sïigan などがある。
                                korkan (魚を取って食す川鳥の一種)
                                sï: (巣)
mank<sup>7</sup>ubo
       (蜘蛛)
    mankubonusi (蜘蛛の巣)
                                ※「獅子」は無回答。
nanta kudzira (なめくじ)
    一昨年頃から黒色の種類が発生してき
    ている。
mida (みみず)
mukadi (百足)
```

(4) 植物関係の語彙

```
?adani (阿旦)
                                     φudinφutsï (稲の穂ばらみ)
                               tsibomi (つぼみ)。共通語。本来は
matabinari (うらなり)
                               kokomuri という。
jeda (枝)
ko: (皮)
                                kinniguri (木の根)
   kinko: (木の皮)
                               kinuha (葉)
nari (果実)
                                hana (花)
                                   kinu hana (木の花)
    kinnari (木の実)
har furi (落葉)
                                    hananu hantitan (花が落ちた)
                               φusi (節)。竹の節。
sura (梢)
                                   busi (指の節,木の節)
   na:dziku (木のてっぺん)
kinsa (木蔭)。「木の下」という表現。
                               gabu (木の節の盛り上ったところ)
                               φu: (穂)
kinniguri (木の根)
t<sup>7</sup>aːmata (木のまた)
                                   ?ininuфu: (稲の穂)
   matabara (またのある柱)
                               basa (芭蕉)
kusa (草)
                                   basagin ( 芭蕉の着物 )
sibakusa (芝生)
                                   basanari (バナナの実)「芭蕉成り」
?araldzï (草原・荒地)
                                    という表現。
sasigi (挿し木)
                               wakaba (若芽)
    ?ueki (植え木)
                               mami (豆)
kiinu sin (芯)
                                   mamami (あずき)
tane (種)
                                   ?udzuramami (黒まめ)
   tane maki (種蒔)
                                   φïroː (さやえんどう)
?o: (栗)
                               ?itʃubi (いちご)
mugi (麦)
                               φui (ひえ)
    mugitsani (麦種)
                               maːtsïburu (ひょうたん)
    Φuː mugi (大麦)
                               ※ 「福木」は無回答。
    komugi (小麦)共通語の移入。
                               jamatusuni (杉)
de!kuni (大根)
7ini (稲)
                               gara (竹)
    nae (稲苗)
                                   garankwa (竹の子)
    kumi (米)
                               dzimami (落花生)
    ?inikari (稲刈り)
                               tsïkïmun (漬物)
```

```
jeda (枝)
                              kwargi (桑)
tsïru (夢)
                                  kwa i gi ha i (桑の葉)
siburi (冬瓜)
                                  kwa ginu tani (桑の実)
nigi (バラなどのとげ)
                              gumbo (牛蒡)
    ?junnigi (魚のとげ)
                              kubu (昆布)
    ?ida (板などのとげ)
                              konnjaku (こんにゃく)
mandgomai (パパイヤ)
                              kidaqi (榊)
hansin (さつまいも)
                              nodzakura (桜)
    talin (田芋)
                               sankira (笹)。 sankira kanda ともいう。
    mu dzi (田芋の茎)
                               ?ugi (さとうきび)
    7a in (里芋)
                               sanembana (さねん花)。大島には昔から
    koːsajan (山芋)
                               あったが徳之島にはなかった。最近、大島か
    dgaga?imo (じゃがいも)
                               ら入ってきた。
 ※「いんげん豆」は無回答。
                              sabuten (さぼてん)
?uri (瓜)
                               ?ambaki (さるすべり)
    niga?uri (苦瓜)
                               ?uru?isï (珊瑚礁)。 sïraфë:?isï とも
    kï?uri (きゅうり)
                               いう。これで焼いて石灰を作った。 sïrape:
    jendo! (えんどう豆)。大平洋戦争
                               は「石灰」のこと。
    以後、本土から移入した豆である。
                              karusi (軽石)
gadzimaru (がじゅまる)
                              Juro (棕梠)
kakinoki (柿)
                              kuba (檳榔)
                              ∫oːga (しょうが)
    ∫ibugaki (山柿)。網の染料〈黒〉
    に用いられる。沖縄では柿がないので
                               ※「とうがん」は無回答。
    「豚の生血」で網を染めた。
                              nabïra (へちま)
koːdzi (麴)
                              ma:tsiburu (ゆうがお)
                              ?asagao (朝顔)
   ko:dzinu mi:tun (麴が生えている)
                              dziki (すすき)
to:tsiburu (かぼちゃ)
dziki (すすき)
                              sutitsi (蘇鉄)
   to:dxiki (ささがや)
                                  sutitsi nari (蘇鉄の赤い実)
naba (きのこ)
                              to I фu mami (大豆)。「豆腐豆」という
   matsinaba (まつたけ)
                              表現。
    kinokonaba (しいたけ)
                              tamanegi (玉葱)
   minguri (がじゅまるなどに多く出
                              tsa: (茶)
   来るきのこ)
                              ku∫u (とうがらし)
bansïro: (ばんじろう)
                              piːman (ピーマン)。最近の移入語。
```

```
to:kibi (とうもろこし)
                               taribana (仏桑華)。「垂れ花」という表現。
torgin (こうりゃん)
                               maːki (植)
tomato (とまと)
                               matsi (松)
naː (菜)
                                  matsidziba (松葉)
jase (野菜一般)
                                   martsintani (まつかさ)
nasï (茄子)
                                   matsi?amba (松脂)
bira (にら)
                               kunin (みかん)
semmutu (ねぎの一種。わけぎ)
                                   dedegunin, tonogëgunin などがある。
negi (大型のねぎ)
                               midzimori (藻)
nindzin (人参)
                               tankusa (田草)
φiru (にんにく)
                               mux (桃)
nimbi kusa (ねむの木)
                               janagi (柳)
※「ひるぎ」は無回答。
                               ※「ゆうな」は無回答。
7osa (あおさ)
                               juri (百合)
kuina (のり)
                                   jurino hana (百合の花)
tsunomata (つのまた)
                               outsi (よもぎ)
фи: dʒumi nori (すのり)
                               dakkjo: (らっきょう)
mox (藻草)
                               wakame (わかめ)
bara (ばら)
                               wata (綿)
çimawari (ひまわり)。最近の移入。
                               mokumo: (もくもう)
nodakura (つつじ)。
                                ※「梅」は無回答。
tuiru (たんぽぽ)
                               tsibaki (椿)
sïnukï (ひのき)
                               warabi (わらび)。食用にしない。
biwa (びわ)
                               ?asa (麻)
tsiba: (ふき)
                                ※「みょうが」は無回答。
```

(5) 自然関係の語彙

```
      ?ama (あちら)。?ari (あれ)
      da:katʃi ?idʒaŋga ?ara

      ?uma (そちら)。?uri (それ)
      wakaran (どこへ行ったかわか らない)

      da: (どこ)
      .da:ga (どこか)
```

```
tati (縦)
                               mëː (前)
    tatija naga: (縦は長い)
                                   mëːnu jaː (前の家)
juku (横)
                               kusï (後)
    jukuja tsika: (横は近い)
                                   jankusi (家の後方)
majuku (真横)
                                   jaŋkusïnuja: (後の家)。 kusïnu
Sube (傍)
                                   ja: ともいう。
    wa: Jube (私の側)
                               marri (まわり)
    ?amaga ∫ube (向うの側)
                               tunari (隣り)
∫ube (隣)
                               ?amanuja (あそこの家)
                                   ?amanujanu jumi narun (あそ
tox (平坦)
   mato: (真平ら)
                                   この家の嫁になる)
   matojasiki (平坦屋敷)
                               ?agërë (東)。?agariともいう。
nigiri (右)
                                   ?agarinuja (東の家)
   nigirin ho: (右側)
                               kutsi (東風)
sïgjari (左)
                                   kutsïnu kadë (東風)
    sigjarin ho: (左側)
                               ?iri (西)
?uï (上)
                                   ?irinuja (西の家)
    ?uïnu ho: (上の方)
                               satturikadi (申酉の方向からの風)
koːkami (川上)
                               tëːʔurusi (岳おろし,西方の岳から吹く冷
konsiri (川下)
                               たい風)
?waira (風上)
                               φër (南)
                                   mëz nuja (南の家,前方の家)。家屋
saira (風下)
                                   はすべて南向きに建っている。)
fux (下)「しも」(下)に対応。
    Junu ho: (下の方)
                               φënkadzi (南風)
manna: (真中)
                               nisï (北)
saːsima (逆さ)
                                   nisïnuja (北)
                               nisigkadzi (北風)
    saːsïma këːri (逆さにひっくり
    仮る)
                                   ?aokita (北風)。冬冷い風でよろこ
sakadatsï (逆立ち)
                                   ばれない。
kë:∫ima (着物の裏返し)
                               kadi (風)
                                   tsïrimaki (つむじ風)
të ts ïdz ïn (山頂)。「岳頂」という表現。
    tënkusi (岳の後)。昔、木材をき
                                   7oːkadi (台風)
    り出したところ。
                                   kai∫i (かえし)
                                   ?uikadi (追い風)
saki (先)
                                   jukukadi (横風)。 juku?utsi と
    hari saki (針先)
```

```
もいう。
                                  jama nuburi (山に登れ)
   mukaikadi (向かい風)
                                  jamakatsi ?iki (山へ行く)
   φuni hara∫i (舟を走らす)
                             kïsï (崖)「海岸」は表わさない。
                                  「きし」が残っているのは与那国島・沖
nami (波)
   7oːnami (大波)
                                  永良部島・徳之島などである。
   Siranami (白波)
                              muri (丘)
                               gusuku (城)。井之川には石垣を積んだ昔
   bo! dzinami (三角波)
nagi (風)
                              の城趾がある。
   tarïmïdzï ?ukïmun nisun (た
                              ?igu (谷)
   らいの中の水のように凪いでいる)
                               sïra (坂)。けわしい坂。
?iru (色)
                               tsïdzï (頂)
    ?aka (赤)。kuro (黒)。
                                  të ts ïdz i (岳の頂)
    ?ao (青)。
                                   7ikkja (家屋の頂)
    sïro (白)。midori (緑)。
                                   jansïra (屋根のむね)
                                  nuki (ひさし)
    kiro (黄)。
    tfairo (茶)。 murasaki (紫)。
                                   telbara (岳の腹)
                              mitsï (道)
    nit∫a?iro (土色)。
kusahan (悪いにおい)
                               ?abusi (畦)
kabahan (良いにおい)
                              taː (田)
ko lbikada (着物や布切のこげるにおい)
                                  no: Ju (家の近くにある田)
nandziki (おこげ)
                                  haruda (部落から離れている田)
   nandziki kusai (おこげがくさい)
                              haru (畑)
   më:rikada (おこげのにおい)
                                  ?atari (家の近くにある畑)
?etda (間)
                              mix (穴)
                                  mï katsi ?utsita (穴に落ちた)
   tunaritu kumatunu ?e:da (隣り
                              degutsï (出口)
    とこちらとの間)
                              ?irigutsï (入口)
hanari (離れ)。「離島」のこと。海で隔て
られている間。
                              sukima (すきま)
    jerabutu tukunu∫imanu hanari
                               sakë (境)
    (沖永良部島と徳之島との間)
                              kaduqutsi (門)
?a:kari (あかり)
                               businumi: (節穴)
    dampu (ランプ)
                                  mi: ?akiri (穴をあけよ)
dzi': (陸)
                                  kiri∫i ?iri (錐であける)
7asase (浅瀬)
                                   buru∫i ?iri (ボートであける)
jama (山)。 të: (岳)も用いる。
                              ?ami (雨)
```

```
niwaka 7ami (にわか雨)
                                 tʃ<sup>?</sup>uŋkagï (人影)
nagami (梅雨)
                                     dunu kag i (自分の影)
katamburi (片降り)
                                 sigata (姿)
?arare (あられ)
                                     sïgatanu kjurattʃ<sup>7</sup>u (姿がきれ
?amadari mïdzï (雨だれ)
                                     いな人)
?umïdzï (大水)
                                 katatsi (形)
                                      kjurawunagu (美しい女)
?aradzi (荒地)
                                      kimugjuraty<sup>7</sup>u (肝のきれいな人,
sunadzi (砂地)
?iki (池)
                                      心のきれいな人)
?isï (石)
                                 te: (丈)
    φuːʔisï (岩)
                                     teːtaka: ( 丈が高い )
                                     dʒimbuku: (小さい人)。 dʒimbuku
    ?aː?isï (赤石)
?un (海)
                                      tJu: ともいう。
    to:ka ?un (遠い海)
                                 daiban naru (大きくなる)
    φuka ?un (深い海)
                                 narukami sama (雷)
                                      narukami samanu hantitan (雷
?uki (沖)
?ura (湾)。「浦」の意にもなる。
                                      が落ちた)
    bomanu ?ura (母間の浦)
                                      garagara (雷鳴)
    kïdunu ?ura (花徳の浦)
                                 kox (川)
misaki (岬)
                                      tsingjo (井戸)
minato (港)
                                      ?idgun (泉)
kakurisï (暗礁)
                                      ko: nagari (川を流れる)
    kuna kakurisinu ?anki: ki:
                                      koː nuburi (川をのぼる)
    tsïkïrï (ここに暗礁があるから注意
                                      koː kudari (川をくだる)
    せよ)
                                      ko: ?anda (川の側)
?umutï (おもて)
                                      wakjajaija koi?anda (私の家
                                      は川の側)
?ura (裏)
                                      φuxko (大川)。井之川の真中を流
    tataminu kumo (畳のうら)
                                      れている川の名。
?utu (音)
    çiko kinu ?utu (飛行機の音)
                                      kon∫iri (川尻)
                                      mëzgunko (前側にある川)。宝川
?aradzï (開墾地)
    ?aradzi?utsi (開墾地を耕す)
                                      のこと。
haru (野)
                                 ?ike (水たまり)
kagi (蔭)
                                 kumori (池,水たまり)
    kag i ka t f i ku : (蔭に来る)
                                     midzigumori (水の多い池)
```

```
?idʒun (泉)
                                        あがる)
     (滝)
taki
                                     tidaganasinu
                                                ?usamuri (太陽
kani (金)
                                      が沈む)
           (黄金)
    kugane
                                      tïdaganasïnu
                                                kumukat[i
           (銅)。 ?aːganijuːju
    ?aːgani
                                      kakurita (太陽が雲に隠れた)
     ( 銅線 )
                                        (朝日)
                                ?asatïda
tetsu (鉄)
                                     ?asatidanu ?usa ari (朝日が
kumu (雲)
                                     のぼる)
                                santukjatida (夕日)。今にも沈もうとし
    kumunu
           ha∫iri (雲が流れる)
                                ている夕日のことをいう。夕日の沈む頃に織物
kiri (霧)
                                を切ると体が弱くなるし、また生まれてくる子
    kirikandu (霧がかかっている)
                                供の体も弱くなると言われて、それを忌みきら
ki busi (煙)
                                う。織物を切るには朝から昼頃までがよいと言
misaki (崎・岬)
?usu (潮)
                                われている。
Jubarai (塩水・井戸の塩っぽい水)
                                ma:ru (玉)
?amadari midzi (あま水)
                                tsibu (粒)
nai
    (地震)。 dzïsïn ともいう。
                                    tsibunu kumi (一粒の米)
         ?idaun (地震がゆれる)
                                dzïx(地)。
                                            dzimen (地面)
    nainu
kjuntsika kjunutsika (地震の時に唱
                                nitsa (土)
える呪文,四回唱える)
                                    nïtfaburu (土のかたまり)
sima (島,部落・故郷)
                                    nïtsadarakë (泥だらけ)
?isagu (砂)
                                duru (泥)
    ∫iro ?isagu (白砂)
                                mutsi nitsa (粘土)
    7isagu turina
                (砂を取るな)
                                tento:ganasï (天)
    kuro?isagu ( 黒砂 )
                                çi: (日)
mitsa (土)
                                    Çikadzi
                                           (日数)
ſuku (底)
                                tsïkiganasï (月)。「お月様」ということ。
    nabinu∫uku (鍋の底)
                                    tsikig anasinu
                                                ?usagari (月がの
    komorinu suku (池の底)
                                    ぼる)
                                                       (月がお
tarhate (田畑)
                                                ?usamuri
                                    tsïkig anasïnu
hate (畑)
                                    りる)
    ?atari (家に近い畑)
                                tsiki (月)
    noxJu (家に近い田)
                                    kuntsiki (今月)
tidaganasi (太陽)
                                    (星)
                                фusï
    tidaganasinu ?usagari (太陽が
                                    φusibaritun (星がはっきり見える
```

```
夜空の形容)「星晴れている」と
                                  tsinami (津波)
       いう表現。
                                  jamaJu (山から流れてくる洪水)
tugarimun (尖ったもの)
                                  jammë: (前庭,家の前の広場)
sin (角)
                                 hama (浜)
    jasiki nu sin (屋敷の角)
                                      ?oːhama (大浜)
sankaku (三角)。 φudo ともいう。
                                 Simahadziri (島のはずれ)
sikaku (四角)
                                 m<sup>7</sup>atsi (火)
                                     m<sup>9</sup>atsinu ju: më:ri (火がよ
    masikaku (真四角)
maru (丸,円)
                                      く燃える)
    marowari (丸い・円い)
                                      k<sup>1</sup>wadzi do! (火事だ)
    maroan (丸い・円い)
                                 m<sup>7</sup>atsinu hana (ほのお)
sin (隅)
                                  k<sup>7</sup>wadzi (火事)
    ju It s ïnus in (四隅)
                                  nïtsï (熱)
∫ubë (隣り・側)
                                      dainitsi (高熱)
    jaːnʃubë (家の隣り)
                                  sikjari (光)
mïdzï (水)
                                  ?uderi (稲光り)
nin daumi dzi (どぶ水)。 nin dau は「溝」
                                  ?agarenu sikjari (ランプの光)
のことをいう。
                                  kurami (閣)
nagi (凪)
                                      makkurajami (真暗閣)
    7ambanagi (べた凪)。「油凪」と
                                  kampatsï (ひでり)。「旱魃」のこと。
    いう表現。
                                      sigari (6月頃,旱魃のため草木が
kadzi (風)。 ?uːkadzi (大風)。
                                      枯れること。稲、さとうきびなど立ち
「嵐」の意にもなる。
                                      枯れすること。
                                      sigari の時には、さとうきびの節と節
    kadziga tʃ³uwa (風が強い)
    ?unkadzi (海嵐)
                                      の間隔が短い。
                                 tʃ<sup>7</sup>u (人・他人)
    san?urusi (山から吹く嵐)
nami (波)
                                      tf<sup>7</sup>usimatf<sup>7</sup>u (他の島の人,同郷でな
                                       い人)
    ?uːnami (大波)
                                 ?aja (ひび)
   naminu ?idʒitï (波が出た)
?u∫u (潮)
                                 tsïju (露)
                                      jubija tsijunu фutian (夕べは
    Juiki (潮の流れ)
                                     露が降った)
    kudari Ju (沖永良部島方面へ流れる潮)
    nobori∫u (奄美大島方面へ流れる潮)
                                  ?oːbutsï (泡)
                                  jux (湯)
∫uːmitsï (潮満ち,満潮のこと)
                                      jul tandgun (湯を沸かす)
∫uː sïri (潮,干潮のこと)
```

```
る)
    ju: tandzuri ( ")
                                  juduːsï (一晩中, 夜通し)
    wakasimi dzi (湯ざまし)
?atsiki (湯気)
                                      judu si 7asobi (一晩中遊ぶ)
nindgu (溝)
                                 tsakaru (一日中)
tamari (ため池)
                                      ts<sup>7</sup>a zharu hataraki (一日中働
                                      ()
mitsï (道)
    jama mitsï (山路)
                                 sikamaku (午前中)。 sikama (朝)
                                  と waku (間)の複合語。
hasi (橋)
ku jumi (曆)
                                      sikamaku hataratsan (午前中
?itsi (何時)
                                      働いた)
    ?it∫in kiga (何時,来るか)
                                 iusikuriwaku (午後の間中)
                                      jusikuriwaku nibutan (午後の
mukasi (昔)
                                      間中,寝た),~ jasidan (~休
    mukasï banasï (昔話)
siitsiidama (季節)
                                      んだ)
    haru (春), natsi (夏), ?aki
                                 sakima (さっき)
     (秋), фuju (冬), maфuju
                                      sakima tʃan (さっき来た)
    ( 真冬 )
                                 më (前)
                                      mëːnuçi (前の日)
     sangwatsinu ?ajaman (三月頃
    の気候)
                                  7atu (後)
     dujutida (6,7,8月頃の暑い
                                      ?atunuci (後の日)
     太陽)
                                      na:tfa (翌日)
     muduri tida (9,10月頃の暑
                                  kunuguru (この頃)
     い太陽,残暑)
                                      kunuguro: ts²ankutu ne:n
    φu jugumori (大寒の頃の気候)
                                      (この頃は来たことがない)
sikadzi (毎日)。「日数」に対応する。
                                  φëːsa (この間)
    sikadzi hataraki (毎日働く)
                                      φëːsaja tʃ²aʃiga (この間は来
    sïkadzï ?asïbi (毎日遊ぶ)
                                      たが)
?atukinkagi (毎朝)。?atukiは「暁」の
                                 naːtʃa (翌日)
こと。
                                 juːjeːri (夜明け)
jonenkagi (毎晚)
                                      juxjexri mëx (夜明け前)
tf<sup>?</sup>ixgusi (一日おき)。「一日越し」とい
                                 ?aːtuki (曉)
う表現。
                                      haja?oki (早起き)
             hataraki (一日おきに
    ts<sup>7</sup>izgusï
                                  ju?ake (朝の5,6時頃)
    働く)
                                 nisarukami?uri (朝の7,8時頃)。
            ?idʒiri (一日おきに出
    t∫<sup>?</sup>i:gusï
                                   nisaru は朝食のこと。「朝食事」
```

```
(朝食折)という表現。
                                 kuntsiki (今月)
sikama (朝)。暁から12時までの間を指す。
                                 raigetsï (来月)
    nisaru (朝食)
                                 ?idsarutsiki (先月)
                                 kutusi (今年)
Çimmadza (朝の10時のお茶)
çimma (昼)
                                 iani (来年)
    ?asi (昼食), ?asikami?uri
                                 n<sup>7</sup>aːmitsï (再来年)
    (昼食時)
                                 n<sup>7</sup>a liutu (再来年の次の年)
jusikuritfa (昼3時頃のお茶)
                                 kudu (去年)
    jusikurit/fa?uri (星3時頃のお茶の
                                 mitsunati (三年前)
    時間)
                                 jutunati (四年前)
jusikuri (午後1時頃から5時頃までの間)
                                 forgwandziki (正月)
jukkwi?uri (夕方)
                                 nigwatsi (二月)
    juΦï (夕食)
                                 sangwatsï (三月)
juru (夜)
                                 sïgwatsï (四月)
juna (夜中)
                                 gugwatsï (五月)
majuna (真夜中)
                                 rukugwatsï (六月)
çimma (昼間)
                                 sïtsïgwatsï (七月)
kjux (今日)
                                 hatsïgwatsï (八月)
?atsa (明日)
                                 kugwatsï (九月)
?asatï (あさって)
                                 dzu:gwatsï (十月)
jokka (しあさって)
                                 sïmutsïki (十一月)
 ※「五日あと」からは特に言わない。
                                 sïwasï (十二月)
kinu (昨日)
                                 ti!tsï (一つ)
?uttï (おととい)
                                 tar tsi (二つ)
juwanati (さきおととい)
                                 mi*tsi (三つ)
kju:?atuki (今朝)。「今日暁」という
                                 juxtsi (四つ)
こと。
                                 ?itsïtsï (五つ)
?atsa?atuki (明朝)。「明日暁」という
                                 mu!tsï (六つ)
こと。
                                 nanatsi (七つ)
                                 jaːtsī (八つ)
kinu?atuki ( 昨朝 )
                                 kunutsi (九つ)
jusari (今夜)
                                 tu: (+)
?atsajone (明晚)
        juru (明々晚)
                                 dau: ?itsï (+-)
?asatiga
                                 nidgu: (二十)
jubi (昨晚)
                                  sandgu: (三十)
?uttiga juru (一昨晚).
```

```
jondgux (四十)
                                                                                                                                            jakëri (八回)
                                                                                                                                            kunkëri (九回)
 godau: (五十)
 rokudzu: (六十)
                                                                                                                                             tukëri (十回)
 nanadau: (七十)
                                                                                                                                                 とった魚は ?itsïmë: (一枚), nimmë:
 hatsidaux (八十)
                                                                                                                                                 (二枚)のように数える。 籠に入れたのは
 kjuːdʒu (九十)
                                                                                                                                                 tf<sup>9</sup>uːtiːru (一龍), t<sup>9</sup>aːtiːru (二龍)
  saku (百)
                                                                                                                                                 のように数える。
  nijaku (二百)
                                                                                                                                             ?ikutsi (いくつ)
                                                                                                                                                              ?ikutsi ?anga (いくつあるか)
  sen (千)
 man (万)
                                                                                                                                             ?ikisa (いくら)
                                                                                                                                                               7iki sa:ga (いくらか)
 tʃ<sup>?</sup>uri (一人)
  t<sup>7</sup>ari (二人)
                                                                                                                                                               ?ikisa:?atimma kwiri (いくら
mitfari (三人)
                                                                                                                                                              あっても呉れ)
  jutari (四人)
                                                                                                                                             mu ru (全部)
  ?itsïtari (五人)
                                                                                                                                                               muxru ?uri (皆売れ)
 mutari (六人)
                                                                                                                                              katani?ubu (片方が重いもの)
  nanatari (七人)
                                                                                                                                                                katahox (片方)
  jatari (八人)
                                                                                                                                              hambun (半分)
  kuntari (九人)
                                                                                                                                             do kho k ( 両方 )
  tutari (十人)
                                                                                                                                             bai (倍)
 tʃ²ukëri (一回)「ひとりかえり」(一帰り」
                                                                                                                                                              taːtsiˈga siko (二倍)
         という表現。
                                                                                                                                                              mi tsi ga siko (三倍)
                    tsquara (-11), tsquari
                                                                                                                                             kurigahe (くれくらいの大きさ)
                    (-碗), t \int_{0}^{\eta} utsikan (-\eta hat -\eta hat -\eta
                                                                                                                                             kuritu?insa (これと同じ量)
                    t∫<sup>7</sup>utaba (一東)
  t<sup>7</sup>akëri (二回)
                   t<sup>?</sup>asara (二皿), t<sup>?</sup>amari (二碗),
                   t<sup>?</sup>atsïkan(二つかみ), t<sup>?</sup>ataba (二束)
mikëri (三回)
                 misara (三皿), mimari (三碗),
                  mi tsikan (三つかみ), mi taba (三束)
  jukëri (四回)
  ?itsïkëri (五回)
 mukëri (六回)
 nanakëri (七回)
```

(6) 飲食関係の語彙

```
nisaru (朝食)
                                   sikiban kami (お粥を食う)
?a∫i ( 昼食 )
                               saki (酒)
juþi (夕食)
                               sata (砂糖)
çimmatʃa (朝10時頃のお茶), çimmadʒa
                               namasi (刺身)
ともいう。
                                   namasï kiri (刺身を切る)
                               masu (塩)
jusïkuritfa (昼3時頃のお茶)
junanisaru (夜食)。夜の12時頃の食事。
                                   masu taki (塩をたく)
昔は藺草をととのえる仕事を夜間やった。
                               ?u∫u (潮)
nikjagiri (召し上る)。食事一般,たばこ
                               Soju (醬油)
等にいう。
                               kitsibë:ri (酢)
?adzï (味)
                               sembe (せんべい)
darëjami (晚酌)。九州方言を移入した
                               duliban (雑炊)。普通は柔らかなもの。
                               ?ambajaki (いためもの)。「油焼き」
かの。
                               という表現。
?amedama (飴玉)
                               taku (たばこ)
?an (餡)。?adzikiともいう。
                                   taku nikjagiri sori (たばこ
?udon (うどん)
katëmun (おかず)
                                   を召し上って下さい)
sïru (味噌汁)
                               kisïru (きせる。煙管)
nandziki (おこげ)
                               taku?iri (たばこ入れ)
katsibusi (鰹節)
                               tsino: (木で彫ったたばこ入れ)
kamabuku (かまぼこ)
                               kïsïnjuku∫u (きせるのやに)。「煙管の
kamjummun (食いもの)
                               糞」という表現。
kuː(粉)
                               takubun (たばこ盆)
kinako (きな粉)
                                   φë: siki (竹で作ったもので,きせ
k<sup>7</sup>wakki! (御馳走)
                                   るで吸い終えたたばこの灰を打ってそ
                                   れを出すもの)
    kamjummun wat∫amiri (料理する)
?uban (ごはん)
                                   sï turi (火をとる鉢)
                               dagu (だんご)
kumi (米)
                               tsa: (茶)
    7ikk igumi (煎り米)
                               tfabafira (茶柱)。茶柱が立つと縁起が
    sakugumï (うるち米)
    mutsïgumï (もち米)
                               良いと言われる。
                               tsankasi (お茶のだしがら)
sikiban (お粥)
```

```
tsikimun (漬物) watammi: kadi (腹一杯食う)
timpura (てんぷら)。?amba?agi ?ozgui (大食い)
(油揚げ) mi ʃu (味噌)
namamun (生もの) mutsi (餅)
mandʒo (饅頭) mojaʃi (もやし)
k²wasi (お菓子) juː(湯)
?ippai (満腹)
```

(7) 衣服関係の語彙

```
?itsu (糸)
                                kin (着物)
                                    φudangi (普段着)。共通語の移入。
    mumin?itfu (木綿糸)
                                    kjuragin (よそいき。きれいな着物)
    kinu?itsu (絹糸)
handzikja (いれずみ)
                                    ∫udina (仕事着,木綿糸で作る)
haikara (おしゃれ)
                                iaridunda (ぼろの着物)
?oſiroi (おしろい)
                                marigo (おしめ)
sïkari k<sup>9</sup>juːbi (おぶい紐)。k<sup>9</sup>juːbi
                                hadagi (肌着)
は「帯」。おもろ時代の「ききおび」と同語。
                                dzubonsïta (ももひき)
haggïrï (おぶう)
                                mompe (もんぺ)
    k<sup>7</sup>wa: hangïri (子をおぶう)
                                hakama (袴)
kasa (傘,笠)
                                ?waːqi (上着)
    dangasa (こうもり傘)。最近は
                                kagibusi (虫干し, 蔭干し)
    koː morigasa ともいう。
                                ?itugin (絹着物)
                                momengin (木綿の着物)
    ?amagasa (雨傘)
    daranigasa (番傘・からかさ)
                                sara (着物の裏)
    kubagasa (びろうの葉で作った笠)
                                ?uragësï (着物を裏返しに着ること)
   mungjara gasa (麦わら帽)
                                ∫u∫u (裾)
?amagappa (雨合羽)
                                kubi (禁)
miox (養)
                                Sudi (袖)
    mo!kasa (養笠)
                                фutsikinna (ふところの中)
sumikirigin (かすり着物)
                                hauri (羽織)
    sumikiri は「模様」のこと。
                                hantin (半天)
gija (簪)
                                gaito (外套)
```

```
wata?iri (綿入れ)
                                waradzï (わらじ)
k<sup>?</sup>juːbi (帯)
                                     ?asinaka (わらじの短いもの)
    7obi (おたいこの帯)
                                waragutsi (わらで作った靴)。海岸で履
    serak<sup>7</sup>iuːbi (平たい帯)
                                くもの。
    ?irugusi (編んだ紐などの帯)
                                hadanka (裸)
kiwan (脚絆)
                                    hadagka nari (裸になる)
saxki (櫛)。髪を整える櫛。
                                hadaːsï (裸足)
                                    hadaːsï nari (裸足になる)
    jukudzaki (横櫛)
    kusi (櫛)。頭虱をとる櫛。
                                hanawu (鼻緒)
?irugusï (腰紐)
                                    hakiwu ともいう。
                                    katasini фe daa (片ちんば)
k<sup>7</sup>int∫aku (財布)
φudo: (お金を入れる袋)
                                mo!sa!dzi (類かむり)
nuimun (裁縫)
                                    mo!sa!dzi si (頰かむりをする)
    sïtatïmun (仕立てもの)
                                mëːdari (前掛)
jamatumari (尻はしょり)
                                mjo! (養)
moːsadzi (頭巾)
                                migani (めがね)
tonogë (てぬぐい)
                                    kudakam ikagan (海中めがね)
?araimun (せんたく)。?aroi (洗う)
                                    musimigani (虫めがね)
tasiki (響)
                                 ※「久高」は沖縄南部の東海岸にある離島
tarë (盟)
                                であるが、漁師のことを「久高人」で代表さ
gusan (杖)
                                せるほどである。琉球地域では糸満人よりも
tibukuro (手袋)
                                古い漁師の層として「久髙人」がある。「海
tabi (足袋)
                                中めがね | を kudaka mikagan ( 久高め
nitsadarake (泥だらけ)
                                 がね)というのもそこからきている。
noro (布)
                                ?uibigani (指輪)
    noro?uri (布織り)
                                sigata (容姿)
tammun (反物)
                                karadzï kiri (理髪する)
nuri (糊)
                                    sigi Juri (髯をそる)
    nuri?iri (糊を入れる)
                                sampatsija! (理髮店)
hakimun (履物)
                                    karadzï kiri (髪を切る)
    hakimun kumi (履物をはく)
                                sasin (写真)
                                jidzi (絵)
kudzi (靴)
                                nitaba (竹馬)
7and3a (下駄)
                                ?aroi (洗う)
saba (草履)
                                sïni ?aroi (足を洗う)
tabi (足袋)
```

tsïra sïmiri (顔を洗う)

tï:?aroi (手を洗う)

(8) 住居関係の語彙

```
ja! (家)
                                konkuri to dzukuri (コンクリート造り)
    ?jakkjaːjakkjagaja:(あなた方の家)
                                7amadarï (軒)
    wakkjawakkjagaja!(私たちの家)
                                kiburi (軒数を表わす接尾辞)
kine (家族)
                                    ts?ukïburi (一軒)
    ?jakkja:jakkjaga kine (あなた
                                     t<sup>7</sup>ak i buri (二軒)
    方の家族)
                                     mikïburi (三軒)
7usin jaduri (牛小屋)
                                     jukiburi (四軒)
m<sup>7</sup>an jaduri (馬小屋)
                                 nikai (二階建て)
?wansi: (豚小屋)。豚は「巣」を用いる。
                                 jaduri (畑の仮小屋)
turinsi (鶏の巣)
                                     satajaduri (製糖時期の畑に作った
sïx (巣)
                                     仮小屋)
jammë (庭)
                                 7amimuri (雨漏り)
                                      (椅子)。 ko∫ikake もよく用いる。
jankusi (家の後)
                                 ?asitsig i (踏み台)
7atai
     (屋敷内にある畑)
janna (家の中)
                                d3o:gutsi (入口)
                                     ?umutindxo (表の入口)
    ?ukunuma (奥の座敷)
    ?umuti (上座敷)
                                     ?agarind30 (東の入口)
    kuda (四畳半ていどの小座敷)
                                     φusind30 (後の入口)
                                     sïmowakind30 (西側の入口)。
    ?umuti kamidza (上座敷,一番座)
                                     「下脇の門」という表現。
    sïrubï (中座敷)
    tfanoma (茶の間)
                                     mongutsi (門口)
    toIgura (台所,炊事場)
                                     ?uragutsï (裏口)
ja∫ikimmawari (家敷の周囲)
                                ?amadari (ひさし, 軒)
ja: nori (移転する)。居所を移すこと。
                                Φuːjaː ( 母屋 )
ja:?utsïri (家を移動させる)
                                tsingo (堀井戸)。「積み川」という表現。
gëjabuki (かやぶきの家)。 gëja は「茅」 ?uragutsï (通用門・裏口)
のこと。
                                kaki (垣)
                                     ?isigaki (石垣)
kawarabuki (瓦葺き)
to!tambuki (トタン葺き)
                                kama (かまど)
```

```
dzïru (かまど全体をいう)。「地炉」に
                                    mungutsi (門口)
対応する。
                                    jadu ?eːri (戸を開ける)
                                    jadu k<sup>7</sup>uxi (戸を閉める)
katsa (蚊帳)
                                hammado (半窓,高窓)
garasu (ガラス)
kawara (瓦)
                                tobukuro (戸袋)
kura (倉)
                                todana (戸棚)
※「高倉」は徳之島では母間,伊仙,天城
                                dodai (土台)
などにはあるが、井之川には昔からなかった。
                                mun?ukiguja (納屋,物置小屋)
                                hasi (梯子)
?irigutsï (玄関,入口)
                                hara (柱)
gumi (ごみ)
t∬iribaku (ちり箱)。 gumibaku (ご
                                    na Ibara (大黒柱)。「中柱」とい
                                    う表現。
み箱)。
                                фutsïma (襖)
kanakuri (かな屑)
nokoku ( 鋸びきの屑 )
                                butsidan (仏壇)
                                    ?udzïsï (仏壇に祀られている人)。
∫iki (敷居)
soːdʒi (障子)
                                    人間がなくなると誰でも ?udzïsï になる。
dzïru (地炉)
                                max (部屋)
    dzïrubutsï (地炉縁)
                                    tf<sup>7</sup>uma (一間)
magkubu (蜘蛛)
                                    t<sup>7</sup>ama (二間)
    maŋkubusi (蜘蛛の巣)
                                7umuti (表部屋)
sïsï (煤)
                                    sïrubï (奥座敷)
hoxki (掃除する)。笹の葉などで作った。
                                sentsin (便所)
                                фuru (風呂場)
    sasabuki (笹の箒)
    mia Ibuki (庭箒)
                                munu?uki (物置)
tatami (畳)
                                kadugutsï (門)
tansi (簞笥)。 çikidasi (引き出し)
                                jansïra (屋根)
tuku (床の間)
                                juku (床)
                                ja∫iki (屋敷)
tind3o (天井)
jadu (戸,雨戸)
    dʒogutsï (戸口)
```

(9) 道具関係の語彙

```
?itʃa (板) * ?ita→ ?itʃa のようにt
                                 kuitango (肥桶)
が口蓋化している。
                                 7ozjuki (斧)
mun?irimun (入れ物)
                                     katadï juki (片手斧)
                                 m<sup>7</sup>aːga (田をならす馬鍬)
?usi (日)
?isï?usï (石臼), sïkjusï (挽臼)
                                 ka gami (鏡)
                                 tiru (籠)。大きいもので、草を入れたり、
    sïrusï (磨臼)
m<sup>7</sup>aŋkusa (馬 の草)
                                 芋を入れたりするのに用いる。
    m<sup>7</sup>ammë x (馬の飼料)
                                 ?uboroku (小さい魚籠)
                                 sagibë (竹で編んだ籠で緒が付いている)
?usinkusa (牛の草)
    ?usïmmëz (牛の飼料)
                                 hot∫a (包丁)
    nabïmun (芋など炊いて食べさせる
                                 katana (刀)
     もの,鍋もの)
                                 kanatsïtsï (金鎚)。 baŋgodzïtsïともい
                                 う。鍛冶屋などで使う。
jaginkusa ( 山羊の草 )
                                     waratsïki tsïtsï (木で作ったも
    jagimmë! (山羊の飼料)
toIni (豚などの飼桶)
                                     ので、藁をたたいたり、畦をたたいたり
k<sup>7</sup>ura (鞍)
                                     するのに用いる)。
                                 hamma (ハンマー)
    m<sup>7</sup>ank<sup>2</sup>ura (馬の鞍)
    ?usïpk<sup>?</sup>ura (牛の鞍)
                                 hagama (ごはんを炊く釜)
mukku (もっこ)。2人で手で持ち運ぶも
                                 tʃaːtʃuːka (お茶をわかすやかん)
ので, 竹で編んだもの。
                                 nabi (鍋)
?oida (牛の背に荷を積むための道具で,
                                 kama (鎌)
竹や繩で編んだもの)
                                     kusakarigama (草刈鎌)
bakkë (ざるに紐をつけたもので、紐を頭
                                     7inekarig ama ( 稲刈鎌 )
                                 kamagi (藁で作ったかます)
にかけて,荷を背負うもの)
?usïntsïna (牛の鼻綱)
                                     torranku (藁で小さく編んだもの)
                                 kama (かまど)
    hanambusi (節の付いた鼻繩)
kutsiba (馬轡)
                                 kamisori (かみそり)
?utsïwa (扇)。 sensu (せんす)
                                 kami (甕)
    kuba?utsïwa (びろうで作った扇)
                                     midzigami (水甕)
wix (桶)
                                              (味噌甕)
                                     mi sogami
    tango (手桶)
                                     sakigami (酒甕)
    ?i∫iwï: (据え桶,四斗だる)
                                     7ambagami (油甕)
```

```
?aigamï (染物を入れる甕で二斗
                               ?usebatsï (大皿)
     がめぐらいの大きさ)
                               ts?uzdara (中皿)
     gusugami (五升甕)
                               kudzara (小皿)
     ?ittugu∫ugamï (一斗五升甕)
                               sadzi (匙)
     nitugami (二斗甕)
                               nibu ( 杓子 )
     santugami (三斗甕)
                                   nibu si midzi sikuri
                                                       (杓
     jontugami (四斗甕)
                                   子で水を汲む)
     ?it∫ikokugamï (染物を入れる甕)
                                    misige (飯杓子)
  ※徳之島では瓦をやいたことはあるが、甕
                                    sïrugai (汁杓子)
 は作らなかったという。
                                se: (ざる)
kana'(鲍)
                               daux (重箱)
?adzin (杵)。一本の丸太のようなもの。
                                    siki dau: ( 供物の重箱 )
    jamatu ?adzïn (餅を搗くような杵)
                               dʒoːgu (漏斗)
?iri (錐)
                                tsiga (桝)
    ?iri sï
           ?i:ri (錐で穴をあける)
                               masi (桝)
k<sup>7</sup>ui (杭)
                                    ?i∬umasï (一升桝)
                                judari (鋤)
kanikugi (釘)
    garakugi (竹釘)。竹で作った。
                                   金で作ったもので,田・畑を耕す。
    gara は「竹」のことで,孟宗竹のよう
                               sumidora ( 炭俵 )
    な大きな竹。小さい竹は de という。
                               suribatsï (すり鉢)
    普通釣竿に使うもの。
                                   misusuribatsi (味噌すり鉢)
kïːkugi (くさび)。「木釘」という表現。
                               sïrikuqi (すりこぎ)
toːgë (鳅)
                               seiro (せいろ・蒸籠)
    to:tsïmu (田を耕す鍬)。木に金の刃
                               kuliki (餅・だんごなどをふかしたりする
    をついだ鳅。
                               せいろのようなもの)
    wux to Igë (先が尖り, 巾が狭い鍬)
                               ke jagari (石油燈)
                                    фunadampu (舟ランプ)
    つるはしのような役目をする。
                                    kasadampu (傘ランプ)
    t<sup>7</sup>aːtsïmata (二つまたの鍬)
                                    ?andon (行燈,四方に紙を張って風
    mitsïmata (三つまたの鳅)
                                    を防いだ)
mu∬u (英座)
                               saun (石鹼)
gumitori (ちりとり)
gumu (ゴム)
                               dzin (膳)
                                              kux (膳を持って来
                                    dzïn mutsï
sau (竿)
de muku (材木)
                                    V))
saːdzïki (杯)
                                tarë (盥)
```

tawa∫i (たわし) domburi (どんぶり鉢) daoikin (雑巾) mutsi (とりもち) kanaguda (脱穀機が出来る前の脱穀用の nabi (鍋) 道具。鉄の捧を櫛の目のように揃え、そこに nandziki (おこげ) 稲穂をかけて脱穀した) φëngo (鍋ずみ)。垢は ?aki という。 dakkokki (脱穀機) nabisiki (鍋敷) tsikue (机) tamun (薪) tsina (綱) ?uduru (枝の薪) waradzina (藁綱) waridamun (割り木) sïrodzïna (棕櫚綱)。牛の鼻綱にも maruta (丸太) 用いるが、牛の鼻がすれて穴が大きく sïdzïri (もえさし) なるのであまりよくない。牛の鼻には ?ukiri (炭火) simi (炭) 阿旦綱が最適である。 ?adanasi (阿旦綱)本来は「阿旦の hai (灰) 気根」のこと。繩を作ると強い。 dziru (地炉)。火を炊くところで、台所 tsïruha∫i (つるはし) のかまどの周辺全体を指す。 sokudai (茶台)。「食台」という表現で, no zgiri (鋸) 食卓一般をも指す。 nokonkusu (おが屑) ti!ri (手入れ) numi (鑿) hanigara (てこ)。鉄や木で作ったもの。 nuri (糊) tippox (鉄砲) sibja:si (灰搔) tig jo (天秤棒) sïnatagui (製糖のとき使うかまど 両側から二人でかつぐとき、担い捧を の灰搔) t⁷arukatetigjo といい,その担ぎ方を tsïkkiri (秤) ?aguragatë という。 saradzikkiri (皿の付いた小さい秤) 一人でかつぐとき、担い棒を tigjo, k¹ in dao (百斤以上のものをはかる大 その担ぎ方をtʃ²urigatëという。 きい秤) k¹wamme (貫目)。秤の目方。 担いで売ることを kate?uri という。 k⁷imme (斤目)。秤の目方。 kateri (かつぐ) hangiri (かごに紐をつけ、紐を額にかけて haku (箱) かごを背負う) m⁷jasi (箸) kamiri (頭上運搬をする)。徳之島では昔 hasami (鉄) から頭上運搬をしない。 hatsi (鉢) kami (徳利) sībatsī (火鉢) sangorbin (三合徳利) sïnosï (火のし)。 çinosï ともいう。

```
hari (針)
                                jumi (弓)
   minda (針の穴)
                                monosa∫i (物差し)
juju (針金)
                                tʃuka (湯わかし)
noro (布)
                                kibi∫u (急須)
                                dampu (ランプ)
    norohaba (布巾)
φuku (袋)
                                φuja (ランプの火屋)
φuta (蓋)
                                    kasa (♠)
    nabinuфuta (鍋の蓋)
                                    dzimi (芯)
    kaminuфuta (甕の蓋)
                                    sïkiju?iri (石油を入れる)
ouri (ふるい)
                                do:soku (ローソク)
                                tuːru (ランプ)
φurusïki (ふろしき)
φuton (ふとん)
                               tsawan (茶碗)
dzabuton (座ぶとん)
                                    sïrudzawan (お汁の碗)
ф ïra (~ 5)
                                   mi sidzawan (ごはんの碗)
hoki (箒)
                               tʃadʒawan (湯のみ)
box (棒)
                                ∫iːmunguki (吸物を入れる碗)
bun (盆)
                                ?ami (網)
makkwa (枕)
                                    nagi?ami (投網)
tsiga (桝)
                                    ?ambikia (底引き網)
m<sup>7</sup>aga (馬鍬)
                                    tsïki?ami (潮の満干を待つ漁法に
    sïrudga (木製の整地用のもの)
                                    用いる)
banatsa (まな板)
                                    ?ibi?ami (海老網)
                                    tubiju?ami (飛魚をとる網)
tsïkiqi (マッチ)
    sino (すみ)
                                    simi?ami (追込み漁の網)
                                    ∫urin?ami (ジャコウをとる網)
    çiʔutsïʔisï (火打石)
                                ?ikjabiki (烏賊釣り)
    çi?utsïgani (火打金)
çiː (火)。m<sup>7</sup>atsï ともいう。
                                sorabiki (さわらなどをとる漁法)
hara (箕)。穀類などからごみを払い分け
                                soratsïki (さわらなどを突く古い漁法)。
る道具。
                                   魚は tugja (銛)で突く。
juri (箕)。ふるいのようにゆすって大小
                                ?ikjari (錨)
をふり分ける道具。
                                7uki (浮標)
mu∬u (筵)
                               kajo (櫂)
    mu∬u ?utsï (筵を作る)
                                    ?utsïgajo (ボート用の櫂)
mungjara (麦わら)
                                sendo! (船頭)
jax (矢)
                                dux (櫓)
```

?juːdïru (魚籠) ?umutï (舳先)
gjuʃin (漁船) tomo (艫)
kudakabuni (くり舟)。「久高舟」 фuninuфu (舟の帆)
という表現。久高は沖縄南部東海岸の haʃira (帆柱)
小島で漁が盛んで奄美各地へ行って漁 muri (一本銛)
をした。 tugja (三本銛)
katsokkwasïbuni (鰹船)「鰹釣船」 gjuːsa (漁師)
という表現。

(10) 労働関係の語彙

duṛmumi (あんま)。「胴揉み」という表現。 (来年は豊年になるよ) ?isa (医者) kusa (草) 7inikari (稲刈り) kusa turi (草取り) momihosi (籾干し) kusa kagari (草取り,手や鎌な tax?uiri (田植え) どで田や畑などの草を取ること) ?uni (畝)。 kusakari (草刈り) kusuri (薬) ?uni wari (畝をつくる) makiri (まける) numigusuri (飲み薬) kuri makirun (これをまける) tsïkïgu∫uri (つけ薬) ?abïri (声を出す) kjurror (月給) kani (金) ?ukitun (小作している) kani mutsi (金持ち) ?ukiratantsu (小作させている人) ?ukituntsu (小作している人) kandzakuja (鍛冶屋) kandzaku sun tsu(鍛冶をする人) murë (乞食) turi ?iri (鶏を射る) kodzukaisen (小遺銭) sa!ri dusi (雨が降らない年) kumija (米屋) kikindusï (飢饉の年) dzaisan (財産) kani (金) muntsukuri (作物)。 tsukurimun と kaniga neldan mun saran もいう。 (金がないと何もできない) saːtaːsïː (砂糖製造) saːtaːsïːdzïki (製糖期)旧正 ʔiφukudusï (豊年) 月頃から三月頃まで。 ?ioukudusï naruwa janija

```
saːtaːsiːnakama (製糖する仲間)
                                 nai (苗)
    sekkai (石灰)砂糖に入れる。
                                    nai kagati ?uïri (稲の苗を引
    takimon (炊きもの)
                                     いて植える)
juiwaku (労働交換)
                                tanino su (苗代)
junabi (夜なべ)
                                garangara (鳴子)
sïgutu (仕事)
                                tani (種)
   ts<sup>7</sup>ittsa:haru (早朝から夕方まで家
                                nangi (難儀)
    に帰らず一日中畑で働くこと)
                                    kun Sigutuja nangina Sigutu
                                     (この仕事は難儀な仕事)
watsamiri (仕度する)
jateban (畑や家造りで手間賃を取らず
                                de! (代)
ただで仕事を手伝うこと)
                                          ?ikisaga (これいくらか)
                                    kuri
hatenusi (畑の主)
                                sakunin (農業をする人)
    tannusi (田の主)
                                    hatë Sigutu (畑仕事)
7ukka (借金)
                                    ta: Sigutu (田仕事)
    7ukkadarakë (借金が多いこと)
                                jakunin (役人)
misi (店)
                                 ?asi bi ja (遊び屋・飲み屋のこと)
    mi s ijanu nu s i (店の主)
                                hatë (畑)
    katë?uri (行商)
                                  ※牛をあつかうときのことば
ta:hatë (田畑)
                                     kiux (左に回れ)
tassi (しろかきなど田を作ること)
                                     ?unja (右に回れ)
    tani?urusi (種子蒔き)
                                     ∫idau (後へもどれ)
naituri (苗取り)
                                     φui (前進せよ)
                                     do: (止まれ)
ta!?uï (田植え)
                                hare: (払い)
    taː?uïttʃu (田植えの人)
taːwaku (田起こし)
                                 tf<sup>9</sup>uːtambi (人を頼む,日雇い)
se ku (大工)
                                 kujasi (肥料)
                                     m<sup>7</sup>ankë! (馬肥)
tsimitatioujasi (堆肥)
tani?urusi (種蒔)
                                     jaginukwë: (山羊の肥)
tami7iki (溜池)
                                     ?usïtatïgwë: (牛肥)
torra (俵)
                                     turinukusu (鳥の糞)
                                 nangisa: (貧乏)
tsïri (釣り銭)
ka∫i (手伝)。ka∫i sï (加勢する)
                                     nangina kurasi (貧しい暮らし)
tixnaroi (手習い)
                                 tsikkoi (さとうきび、稲、野菜など欠け
tïmadori (手間)
                                たところに補い植える)
                                 tïmbja?uï (濃い目に植えたもの)
cima (暇)
```

hagusasï (稲を蒔く植えたもの)
фusïrasï (間引く)
mugi?uï (麦蒔)
mutsïtsïki (餅をつく)
jaduja (宿屋)
janusï (家主)
jamasï (山仕事)

hatë figutu (畑仕事)
k^luŋgi (罠)
 k^luŋgitfu (罠をかける人)
 jamasï k^luŋgi (猪の罠)。猪の
四足をくくるように仕掛けたもの。
jama (ねずみをとる罠)

正月元日は janjuxwë (家の祝)をし,

3日と4日は to∫inowai (還暦の祝)5

日は ha tsibaru?idziri (初仕事)を

sorgwatsï (正月)

(11) 祭游関係の語彙

kami sama wugami (祭りの総称,神様 拝み) ?itsijadumari (一日中泊りこんで祈る) ?aːtoːtoganasi toːtoganasi (祈る 時の言葉) kamisama (神様) jurrei (幽霊) tf?ummaburi (人魂) 7ikimaburi (死の直前,親しい人に ・現われる) maduri となって現われると一ケ月しないうち に死んでしまう。 kimmun (人をおそったりするカエルのよう な化物) gamaora (かっぱ) sidama (火魂) sidamaga tubi (火魂が飛ぶ) ?amënige (雨乞い) фи :gusuku (大城), ?agarigusuku (東城)などに登って, 養や笠をかぶっ て行なう。 gusuku は現在では公民館に なっている。 tusïnujuru (大晦日)

し、16日は sendzomatsuri (先祖祭 り)をする。 kadomatsi (門松) Simenawa (しめなわ) wandzitsi (元旦) çigan (彼岸) wakamidzi (若水) 正月に hanagumi (花米)を井戸に供 えてから若水を汲んだ。 wunagunu Jiku (桃の節句) sekku (端午の節句) ji nganu Jikjuma (稲の収穫の祭り、新米を供える) turihamï (初穂祭り) hama?uri (浜下り, 7, 8月に行なう) dzuːguja (十五夜) tu rumi (先祖祭り、餅を作って墓参りを する) ʔi φëľ (位牌)。 ʔudz ïsï ともいう。 haka (墓)。

```
haka mëri (墓参りをする)
                                de Lguma (こま・独楽)
dzi qoku (地獄)
                                    de z guma mozsi (独楽をまわす)
g okuraku (極楽)
                                ?usi?oːsi ( 闘牛 )
soː∫iki (葬式)
                                sima (角力)
sakimuri (婚約)。 kutsïmusïbi ともい
                                ni:?utsi (抗打ち)。ni:?utsi ともいう。
う。「口結び」という表現。
                                抗のようなものを打ち合って遊ぶ。 ni:?utsi
?aːriri (離婚する)
                                     ?utsï (抗打ちをして遊ぶ)
jum iduri juwe (結婚式)。「嫁取り
                                     (稽古)。「習う」ということ。
                                naroi
祝い」という表現。
                                    sibaja naroi (芝居を習う)
tudzi muroi (妻をもらう)
                                sansïru (三味線)
wutu mutsi (夫をもつ)
                                    sansiru siki (三味線を弾く)
kutsïmusïbi (結納)
                                ?un (海)
    sango zbin (三合瓶)ともいう。
                                iudari (漁り)
nakusam i (歌や踊り)
                                    judari sixga (漁りに行く)
    juwë nakusami (お祝いの歌や
                                7asari (潮干狩)
    踊り)
                                gassu (蛤)
                                geinin (芝居する人,芸人)
?uta (歌)
wuduri (踊り)
                                wudurisa: (踊り手)
jidzï (絵)
                                dganken (じゃんけん)
jempitsï (鉛筆)
                                    古くは ?aiko と言い、親指は子指に、
    jempitsinu sinnu wuriti (鉛
                                    子指は人差指に, 人差指は親指に負け
    筆の芯が折れた)
                                    るというやり方であった。
sïsïrëzsïsïrëbuku (お手玉)
                               ?uigi (水泳)
    sïsïrëːsïsïrë ?agïri (お手玉を
                               sïdzïri (硯)
    する)
                               siberidai (すべり台)
                                simi (墨)
kakuigoto (かくれんぼ)
                                             (墨をする)
    7oni (鬼)
                                    sïmi sïri
kaki (かけごと一般)
                                    (相撲)
                                sima
                                    sima turi (相撲をとる)
ne gi (片足とび)
                                ?us idzima (押し角力)
niwatorikenka (片足とびをしながらぶつ
かり合う遊び)
                                simadzima (島角力)。昔からの島の角
                                力。両方とも帯をつかんでとっくみ合う。
m<sup>7</sup>aː фui (肩車)
                                         gun (外かけ)
karuwadza (軽業)
                                    hati
                                         më gun (内かけ)
kud3ibiki (籤)
                                    ?utsï
tixbui (口笛)
                                    haŋgïdzïma
                                             (投げ角力)
```

```
mingjor (人形)
    Çidari haŋgï (左投げ)
    migi hangi (右投げ)
                               tïdagama (ひなたぼっこ)
                                фudï (筆)
    dzïka haŋgï (引き投げ)
                                muflkarisï: (ままごと)
tëku (太鼓)
nitaba (竹馬)
                                mugkari (人形・おもちゃ)
tako (凧)
                                marru (毬)
    tako tubasï (凧をとばす)
                                   maru nagïrï (毬を投げる)
tsïnasïki (綱引き)
                               midzi (水)
   川を境に ?agare (東)と ?iri (西)
                                   midzi ?asibi (水遊び)
   に分かれて綱引きをする。
                               karuta (かるた)
dzi'x (字)
                               katta: (めんこ)
    dzii kaki (字を書く)
                                sïrokuro (竹で表と裏とをかえす遊び)
dg o: (手紙)
                               kakëri (ゆびきり)
hagaki (はがき)
                                ?ittugwa! (おはじき)
tsïnawuduri (繩とび)
```

語彙その2 動 詞 語 彙

(1) 動静の語彙

Oゆれうごき

うごく

mïmajunu tsïratsïra ?iŋkjun (眉がぴく ぴくうごく)

kumunu ?inkjun (雲がうごく)

kurumaga ?iŋkjun (車がうごく)

ty⁷uinu sorosoro 7attyun (人がぞろぞろ あるく)

dux ?inkasi (体をうごかす)

?isïn ma tïtsïmu sïppatantï ?igkima san (石のように一つも引っぱってもうご きもしない)

kutsï 7iŋkasï (口をうごかす)

?udzïmusïga gudʒagudʒa ∫un (蛆虫がう ようよしている)

ゆれる

фuni nu ?inki (舟がゆれる)

kuruma nu ?igki (車がゆれる)

densenga gutugutu ?intfun (電線がぶら ぶらゆれる)

buraŋko ga ʔumbutï (ぶらんこがゆれる) ~ ʔumbururiともいう。

ja: nu gisigisi 7iŋkjuri (家がみしみし ゆれる)

?inïnuφuːga nami nisï juritun (稲穂が 波のようにゆれている)

ゆする ゆすぶる

çidza gutugutu фurun (膝をがたがたゆする)

buragko ?umburi (ぶらんこをゆする) ki: kuqi (木をゆする)

ふる

tïː φuri (手を横にふる)

ti: manki (手まねきをする)

kubi фuri (首をふる)

hata Φuri (旗をふる)

ふるえる

sigjorowan gatagata Jun (寒くてがたが たふるえる)

gigit∫irigui (ふるえ声)。人前などで話を する時のふるえ声。

ゆらぐ

?atsïkiga buːbu ?agatun (湯気がゆらぐ) sïdarëga kadzï ni ?iŋkaːttï (すだれが風 にゆらぐ)

(kirikandi nja!run 霧のように見える)

うねる

nami nu ?uneri (波がうねる) ?uneri ga ty[?]uwan (うねりが強い)

くねる

du: k²uneriga dzo:dzi (体のくねりが上手

だ)

はねる

?usagiga wudurun (兎がはねる) gattaga tubi (バッタがはねる) duru: hanïtï (泥をはねる)

Oまえすすみ あとずさり

すすむ

më: ?akki (前をあるく)
më: katji ?akki (前へあるく)。
「すすむ」の意味で用いる。
фunï ga hasiri (舟がはしる)

あとずさり

mari sïdzïki sï: (あとずさりする)

あらわれる

madzumun nu ?idzitï (ハブがあらわれる) tsïrana ?arawaritan (顔にあらわれた)

ばれる

?arammunga bariti (嘘がばれる)

ひっこむ

jannaː nabï (部屋にひっこむ)。 jannaː は「家の中」ということ。 netsu ga sagatï (熱がさがる) tïː kakusï (手をひっこめる) tïː haŋgwatsï (手をひっこめる)

かくれる

tsïkïganasïga kumuna kakkwïtï (月加那 志が雲にかくれる) wareŋgwa nu kï:na kakkwïtï (子供が木 にかくれる)

kakkwigoto (かくれんぼ)

turi nu kakkwiti (鳥がかくれる)

nusïduga kakkwïtï (どろぼうがかくれる)

njaIradï (見えない)

?anʧu ja bjoːkinu k²udu (あの人は病気 がひそんでいる)

Oいきき

いく

gakko: katji ʔikjun (学校へ行く)。「行 く」の終止形は ʔiki, ʔikjuri, ʔikjun が

wanni ma ?iki (私もいく), wannima ?ikjuri (私もいく)

?ikjamï (行かないか), ?ikan (行かない)

kakami (書かないか), kakan (書かない)

むかう

kamedzï katsï ?iki (亀津へ行く)。「へ」 は katji でもよい。

さる

nagariti ?iki (故郷をさる,流れて行く) ?uri ga ?idzïtï kara dë:dzï nagi (あな たが出たら大変だ) ?antʃuja ?utirankumo katʃi ?utïtan (あ

/anyuja /utiraŋkumo kayi /utitan (あ の人は遠いところへ行った)

それる

?uːkadʒija maburattī kan kuŋgonī jukwïti ?idʒan (台風は幸いにここへ来ない でよけて行った)

jumi nu mato na t⁷ïtsï ma 7ataran (弓 が的に一つも当らない)

はなれる

jakara ?idziri (家からでる)

turinu sïːkara hanaritan (巣からはなれ た)

?ujakkwa wakari wakari kurat∫un (親 子がはなればなれにくらす)

фuni ga ?idʒitï ?idʒan (舟がでていった) jumi ?iːtan (弓を射った)

とおのく

jenga tukunatan (縁が遠くなった)

どく

?uŋkara jukwïri (そこからどいてくれ) jisï noːsï (椅子をどける)

へだたる

?anʧuŋkjatuja tuːka ʧ^uŋkja (あの人た ちとはへだたりがある)

jendo nasini tsikiai (遠慮なしにつきあう)

くる

tyu: nu kjun (人がくる)

ta: ?uï ?uːri natï (田植時期になる)

つく

фunr ga minato katsï ?ittsï (舟が港に つく)

dgo: ga tfan (手紙が来た)。dgo: は「状」 に対応する語。

jaː kat∫i joːjaku tumëːti tsiː (家にた

どりつく)

くっつく

mutsi nu ti:na tsittsi (餅が手にくっつく)

k²wanu jungamaraha:n ?ujaka hanariran (子供がうるさく親からはなれない)

ちかずく

φuninu tsïkadzïtsïtʃan (舟がちかづいてき た)

So:gwatsï më: natï tsï (正月が近づい てくる)

よる

?anda katsi jukwiri (道端による) kairija misi katsi juti (帰りは店による) natsi nu musiga ?ittsi kjun (夏の虫が入って来る)

tsïra ?utsï (顔で相手に合図する,物を言 わないで表情で相手に意を伝える)

mïː?utsïは「まばたき」。

tyunu sibe katsi juti tsi (人の側による)

おしよせる

nami nu tsïki ?agiri (波がおしよせる) tvu:nu ?use ?use sï: (人がおしよせる)

せまる

matsïri so:gwatsï ga tsïkjamitï tsan (祭りや正月が近づいてくる) 中ento:si: (返事をする)

いらっしゃる

?isaga ?amakara m⁹oːrun (医者がむこう

からいらっしゃる)

morruri, morru ともいう。

kunna morru (ここにいらっしゃる)

うかがう

?jakkjaːjaːkatsï kjusa (お前たちの家 に行くよ)

?urita: jaːkatsï këːrussa (あなたの家に 参ります)

tami ktsi njun (様子をうかがう)

かけつける

madzumun ni kwatti sigun bjozin ni ?idzan (ハブに喰われてすぐ病院にいった)

もどる

mutunu mitsï mari muduri sï: (もとの道 までもどる)

jaː katsï kaitï (家にもどる) jaː nï ga (家を見に)

かえる

jaː katsï këːri (家にかえる) sïma katsï muduri (故郷へかえる)

ひきかえす

ʧu: tu muduri (途中でひきかえす)

ひきあげる

jamatu katsï sïkï ʔagiri (本土へひきあ げる)

sïma na kurasï (故郷でくらす)

まわる

kadzi guruma mawasi (風車をまわす)

?isuga:n kirikiri mai (忙しくて目がまわる)

?undo idzo: mawari (運動場をまわる)

めぐる

dgento: mawari (全島まわり)。徳之島全 域をまわること。昔から修学旅行のように 3 泊 4 日で島一周をして各学校を見学した。 jaggurui burokku tsïmi (家のまわりをブ

ロックで積む)

かよう

?isa gai (病院にかよう)

gakko: ?akki (学校にかよう)

ちる

ty²unu barabara kairi (人がちっていく) hana nu hantïtï (花がちる)

juːmï (横目)

sïminu tsïriri (墨がちる)

あつまる

matsi nukumi (火にあたたまる)

さまよう

mits i madzige (道にまよう)

うろつく

turinsï nu girui njaonu maītsï ?at切un (鳥の巣のまわりを猫がうろつく)

ほっつきあるく

muranna: ?akki (村の中をあるく)

ただよう やめる Φuni nu ?uttsagiratti (舟がただよう) jukkwi ti sigutu jamiri (日がくれて hana nu nioi nu ∫uri (花のにおいがただ 仕事をやめる) よう) かかげる のぼる Çinomaru nu hata tatïri (日の丸の旗を 7inoxdex nuburi (井之川岳にのぼる) かかげる) kïː nuburi (木にのぼる) jansïra nuburi (屋根にのぼる) うく sïra: nuburi (坂をのぼる) Фuni nu ?utJun (舟がうく) kumu nu tattJun (雲がういている) のる m'a: nuri (馬にのる) たちい kuruma na nuri (車にのる) Фuni na nuri (舟にのる) ある ?atsïtsïgi na nuburi (踏台にのぼる) kani mutsi (金持ち) kani nu ?an (金がある) あがる ?umats ïriga ?an (お祭りがある) nikai katsi nuburi (二階にあがる) dza∫iki kat∫i nuburi (座敷にあがる) いる ?ama ga wun (おふくろがいる) ?un ?iki ja jamiti haru ?iki si: (漁師 はやめて陸にあがる) ?inu ga wun (犬がいる) ?itsinensei ?iki (一年生にあがる) koːkoː sotsugjoː siː (高校卒業する) たつ sïgutu ?ujagï (仕事があがる) tyunu tattyuri (人がたっている) nidannu ?agati (値段があがる) kïbusï ga tatt∫uri (煙がたっている) nitsi nu tarha (熱が高い) ?utu narasï (音をたてる) Φuru wakasi (風呂をたてる) matsi nu hanaga njairun (火の手があが る) ja: tatiri (家をたてる) kibusiga tattsi (煙があがる) すわる やむ tatami nu ʔuïna jiri (畳の上にすわる) ?amï ga harïtï (雨がやむ) wata jaminu notï (腹のいたみがやむ) かがむ kusi ?utsinki (腰をかがめる)

かける つまさきだち ma: nu tudi ?idzun (馬がかける) taːsagja sïː (爪先立ちをする) hasirikurabi (かけっこ) ひきたつ kinnu iru nu kjuraha (着物の色がひ とぶ きたつ) turi nu tubi (鳥がとぶ) Juju nu ?agari (しぶきがとぶ) ひきたてる dzunsanu warumun katsïmïtï 7idzan (巡 およぐ 査が悪者をつかまえていった) ?juː nu ?ïːgi (魚がおよぐ) すべる ころがる nambu mitsi nati kuge tan (すべっこい mairu nu moiri (球がころがる) 道でころんだ)。~ namburi (~すべる) 7inu ga kugëri (犬がころがる) はう ころぶ kwagwa: nu ho: i ʔidʒatsï (赤ちゃんがは mitsï nu ?agari sagarisï kugëtï (でこぼ い出した) こ道でころぶ) madzimunga ?idziti tsi (ハブが出てく る) たおれる tassaboi sïtsï kïtï (四つんばいになっ kïː nu takkugëtï (木がたおれる) てきた) つまづく あるく ?isï kïttagutï (石につまずく) Фumata ?akki (大股であるく) ひっくりかえる いそぐ Фuni ga çikkurigëti (舟がひっくりかえる) gakko: katsï ?i∫ugatï hasïri (学校へ いそいでいく) くじく ?i∫ugatï ?ïːri (急いでおきる) sïni kundzigërratsï (すねをくじいた) はしる よろける ?undoːkai na ha∫iri (運動会ではしる) ?isï k[?]ïtï kugërugëa (石につまずいてよ

ろける)。~ kugëtï (~たおれた)

hasiri kurabi (走り競争)

よろめく

sakï nudï kugëra mangëra (酒をのんで よろめいている)

こもる

kïbusïnu фutsïmotï (煙がこもる) ja; kumotï (家にこもる)

うまる

mugkarimun ga duru ga tsïttʃun (おも ちゃが泥まみれになる)

Çirobaga tu ?ippai (広場が人でうまる)

とまる

tumtan (とまった)

midzīnu nagarī ga tumatī (水の流れがと まる)

nagari tsīŋkiri (流れをせきとめる) basu ga tomari (バスがとまる) Фuri ga tumatī (ふるえがとまる) midzī ga tumatī (水道がとまる)

ながれる

koːga nagariri (川がながれる) kï nu nagaritï tsï (木が流れてくる) ?ukkan kara ?asïga tarïru (額から汗が 流れる)

そそぐ

koz ga ?un katsï nagarïtï (川が海へなが れる)

もる

tuːkaː nu midzï mururi (やかんから水 がもる) ja:nu mururi (家がもる)

ふきでる

φunsui kara midzïnu φukidziru (墳水か ら水がふきでる)

tsï:ga Фukidʒiri (血がふきでる)

しみる

kabinna ?inniku nu tsïkatï (紙に印にくがつく)

kusïri tsïkitantu sïrakijami ∫un (薬を つけたからしみる)

sïgjuro midzï hał tsïkkjagiruri (冷水 が歯にしみる)

ぬれる

?amï ni sïttatï (雨にぬれる)

ひたる

midzï na tsï ŋgatï (水にひたる) ja: nu midzï na tsï ŋgatï (家が水びたし になる)

つかる

kubi ntana ju: na tsïkatï (首まで湯に つかる)

(kamidzi ntan ?iki 亀津まで行く)

(?ino: kara kamïdzï ntana ?attsï 井之 川から亀津まで歩いた)

さす

?amba ?idiri (油をさす) mïn ku∫uri tsïkïri (眼薬をさす)

つぐ

saidzīki na sakitsīgi (杯に酒をつぐ)

こぼす

t Jaː haŋkuratsï (茶をこぼす)
sata tsïratsï (砂糖をこぼす)
misï haŋkuratsï (ごはんをこぼす)
nada nu ?idzïtï (涙をこぼす)
muŋku ?iː (愚痴をこぼす)

あふれる

baketsïnu midzïga ?ambïruri (バケツの 水があふれる) ko: nu midzï ga ?ambïtï (川の水があふれる) nada nu ?idʒitï (涙があふれる)

Oでいり

はいる

ja: katsï ʔiri (家にはいる) kwai katsï ʔiri (会にはいる) mintsïri ʔiː tï (目にごみがはいる) mintsïri は「目に入ったごみ」のこと。

いれる

る)

中ukuru na ?iːri (袋にいれる)
中utsukun na ?iːri (ふところにいれる)
tʃaː sasï (茶をいれる)
koːçiː na saːtaː ?idiri (コーヒーに砂糖をいれる)
tʃuːkaː na midzï ?idiri (やかんに水をいれる)
çibatsï na m²atsï ?idiri (火鉢に火をいれ

suit√i ?iri (スイッチをいれる)

でる

sïtu katsï ?idzïri (外へでる)
ja: ?idzïri (家をでる)
gakko katsï ?iki (学校へでる)
gakko: ?owari (学校を終わる)
nikun nu ?idzïri (ニキビがでる)
se: tsïkkju (咳がでる)。~ tsïkkjuri
ともいう。
netsï nu ?idzitï (熱がでる)
nada nu ?idziruri (涙がでる)
midzï ga ?idziruri (水がでる)
tsïkiga ?usagari (月がでる)
mï: kara m²atsïnu ?idzirun (目から火がでる)

だす

kani ʔidʒasï (金をだす) sïba nugidʒasï (舌をだす) koːrinu naː kara k²in ʔidʒasï (行李の中 から着物をだす) dʒoː ʔidʒasï (手紙をだす)

さしだす

bun nuwari (盆をさしだす)
tï: ʔidʒasï (手をさしだす)
tï: nuwari (手をだす)。「手をさしだす」
意にも,「人をなぐる」意にも用いられる。
tï: sïrugïri (手をひろげる)

つれだち

koːi mun sïː ga soːtï ʔiki (買物につれていく)

?in ?asïbasïga soːti ?iki (犬を運動につ

れていく)

ひきいる

sensei ga seito soːti ʔidʒun (先生が生 徒をひきいていく)

やる

ware:n tsïkoi (子供をつかいにやる) kanï kwïranï (小遺をやる) muŋkama sï (餌をやる)

よこす

hendzi mutasi (返事をよこす) maru nagi tsikami nagiri (毬を投げてよ こす)

おくる

kodzutsïmi ?ukuri (小包をおくる) ?ukurimun ∫ita (贈物をした) t√u mi?ukuri (人を見送る)

とどける

mja I gi ha gi (おみやげをとどける)

Oもちはこび

おぶう

k[?]waː haṇgiri (子供をおぶう)

おう

niː haŋgiri (荷をおう)

せおう

niː haŋgiri (荷をせおう)

かつぐ

niː katëri (荷をかつぐ)。棒でかつぐこと。 toːra katëri (俵をかつぐ)

「肩」にじかにかつぐことは mangatë という。

tempin sī katëri (天秤棒でかつぐ) 二人でかつぐことは tǐg jo: gatëという。

もつ

niː mutsï (荷をもつ)

niː tsïmmiruri (荷をさげる)。 tsïmmiri ともいう。

kanï mutsï (金をもつ)

ja I wari (家庭をもつ)。分家して家庭をも っ。

さげる

kaban tsïmmiri (カバンをさげる) tJoːtsïn mutsï (提灯をさげる) kusï na tonogë sagïri (腰に手拭をさげる) kusï na kama sasï (腰に鎌をさす)

はこぶ

nitJa mutsï (土をはこぶ)
mun haŋgiruri (額に紐をかけてかごを背負う)。~ haŋgiri (~背負う)

のせる

mun kamïri (物を頭にのせてはこぶ) ni: tsïmi (荷をのせる)

(2) 変容の語彙

わる

garasï tsï ki watï (ガラスをわる)
tamun wari (薪をわる)
gara wari (竹をわる)

Φuːsendama wari (風船をわる)
tamagu wati (卵をわる)
tJadzawan watï (湯のみをわる)

Joːtʃuː ʔusumiri (焼酎を水でわる)

くだく

?isï tsïkkiwari (岩をくだく) koːri wari (氷をくだく) mitʃa tsïki sïŋgi (土を細くくだく)

つぶす

?itJubi sïrisïggi (莓をつぶす)
musï sïrisïggi (虫をつぶす)
nikun sïggi (ニキビをつぶす)
kïsïnu k²undëtï ja: ?usïtsïkirattï (山
がくずれて家がつぶれた)。 kïsï は「岸」
のことで、崖などを含んだものをいう。海岸
ではない。

こわす

ja: nu jatsïrïtï (家がこわれる)
tokei nu jaburïtï (時計がこわれる)
kagi nu jaburïtï (鍵がこわれる)
kuruma nu фuruku natï ?iŋkaŋgoː natan
 (車が古くなってうごかなくなった)
hana ?iki nu warïtï (花瓶がわれた)
haku tsïkiwatï (箱をこわす)
duː kuwatsï (体をこわす)

karada nu jaːratsï (体が弱る) wata jambïratsï (おなかをこわす)。 ~ jambïra Jun ともいう。

くずす

kïsï nu k⁹undïtï (崖がくずれる) jama nu k⁹undïtï (山がくずれる) soːmuri nu k⁹undïtï (下へもるような穴が くずれる)

ts⁷ï ŋgjoː nu k⁷undïtï (井戸がくずれる) kïː tsïmigï nu k⁷undïtï (積木がくずれる) ?waː tʃikiga jambïtï (天気がくずれる)

やぶる

「oːdʒiga jarïtï (障子がやぶれる)

фukuroga jarïtï (袋がやぶれる)

k²in nu jarïtï (着物がやぶれる)

nui më kara jarïtï (縫目からやぶれる)

?isï gakï nu k²undïtï (石垣がくずれる)

k²oːro k²undatsï (牢をやぶる)。 k²oːro

は留置場, 牢のこと。
p²iːjo ga sïdïtï (ひなが孵化する)

さく

naru kamisama nu hantītī kīz tsīkisatī (雷がおちて木をさいた) ?amī ga фuradan taja muru warītī (雨 が降らずに田が皆われた) noro tsīnsaki (布をさく) ?ikja saki (するめをさく) ?unagi ?atsīkoi (鰻をさく) ?iju ?atsīkoi (魚を三枚にさく)

かく

tJadzawan nu hataki i ruri (湯呑がかける)
saiki nu hanu këiti (櫛の歯がかける)
櫛を拾うと病気になって苦労すると言われる。
suri nu haga hagutsi Jun (剃刃の刃がこぼれる)

katsobusi фigi (鰹節をけずる) namaku nati kiriran (刃ものがなまって切 れなくなる)

おる

?uduru tsïnwuri (枯枝をおる)
harinu wurïtï (針がおれる)
kasa k²ui (傘をおりたたむ)
kabi sï turi tsïkuri (紙で鶏をつくる)
千羽鶴をつくる意。

わける

mandzo tsïn wëri (お菓子を二つに分ける) hambunwakë ∫un (山わけにする) tfu: wari ?atïri (人数をわりあてる)

きる

tamana u kumakaku kiri (きゃべつを細 かくきる)

deːkuni namasī kiri (大根をきざむ)

?uteː?iju nu kuːtasïga ?itonu kirïtï
(大きい魚が釣れたが糸がきれて)

?iju nu ?ami tsïː фugatsï (魚が網をきる)

hasami sǐ ʔitʃu kitǐ (鋏で糸をきる) ha sǐ kwïkkiri (歯で糸をきる) gumu nubasǐŋsïko nubatʃan tukja kiritan (ゴムをのばしているうちにきれた) tsï mi k^ʔiri (爪をきる) karadzi tsikjamiti kwiri (髪を短くしてくれ)

jasë: seːna ʔiːtï koːra k^ʔiri (野菜をざ るに入れてかわかせ)

kadzi nkisi di ?iki kirirugëzti (水にも ぐって息がきれる)

?ïːbu k[?]watsï (指をつめる) kubi kiri (首をきる)

hana tsïnkiri (花をちぎる)

たつ

noro tatsi (布をたつ)

ちぎる

sïgjoroan minnu kirirungane sï (寒くて 耳がちぎれそうだ) sudï jarïratsï (袖をちぎる) haorino çimoː sïkkitsï (羽織の紐をちぎる)

きざむ

se ggir i ?urusï sï (千切おろしをする) ta:ku kiri (たばこをきざむ)

けずる

jempitsu tugi (鉛筆をけずる) k¹ui tugi (抗をけずる) hara kana sï sïagirï (柱を鉋でしあげる) katsïbusï tsïki (鰹節をけずる)

かる

karadzï kiri (髪をきる) kusa kari (草をかる) ?inï kari (稲をかる) ?ueki kari (植木をかる) sïba фu kari (芝生をかる)

そる

sïgi Suri (髯をそる) mïmajunu sa: Suri (眉の下をそる)

むしる

hatë nu kusa kagarun (畑の草をむしる) karadzï ∫ukki (髪をむしる)。∫ukkjuri, ∫ukkattïともいう。

turi nu hani nugi (鳥の羽をむしる)

つむ もぐ

kiːha tsiŋkiri (木の葉をつむ)
hana tsiŋkiri (花をつむ)
mami tsiŋkiri (枝豆をもぎとる)

ひく

maruta watsï hara nasï (丸太を鋸でひい て柱にする)

noːgirisï sïtsï kïː kugerasï (鋸でひい て木をたおす)

おろす

?iju mikiri kiri (魚を三切にきる) ?iju nu ?ukkan kitsï hannagiri(魚の頭 をきってなげすてる) derkuni ?urusï (大根をおろす) hansïn ∫iri (芋をする) hansïn kudzï (さつまいものくず)

hansïn kudzï nu kasï (さつまいものか す)豚,牛の餌にした。

sït ït s ï n k⁷udz ï (蘇鉄のくず)。
 ~ kas ï (~のかす)。味噌に入れたり,
 餅に入れたりした)

Jozga Jiri (しょうがをする)
goma Jiri (ごまをする)
jeda kiri ?utusï (枝を切りおとす)
wugi kasadzï wuginsura kiri (きびの葉をとり、きびの先をきる)
karadzï kiri (髪をきる)。~ tsïkjamiri
は全部きりおとしてしまうこと。

はねる

kubi kiritosï (首をきる) jusari nu sïbaja ja kisa sïdï (夜の芝 居はさっきはねた)

そぐ

karadzi sa:ki (髪をそぐ)。~hana tsimi (~の先をきる) gombo: фi gun (牛蒡をきる)

とぐ

hoːtʃaː tugi (庖丁をとぐ)

みがく

doːgu migaki (道具をみがく) nabïnu фïŋgu ʔutusï (鍋のへぐろをおと す)

nandzïki ?utusï (おこげをおとす) kudzï migaki (靴をみがく) haː migaki (歯をみがく)

ぬく

∫iragï nugi (白髪をぬく) kugi nugi (釘をぬく) wuï nu ∫ukuga nugïtï (桶の底がぬける) tendʒoːga hantiti (天井がぬける)

すこく たわむ kun in nu ko I hagi (みかんの皮をむく) jida ga taturi (枝がたわむ) hansinnu ko: haqi (芋の皮をむく) ringo nu ko: hagi (リンゴの皮をむく) しなう mami niki (豆をむく)。~ nikjun, gara nu kadi si takkugëti (竹が風でし ~ nikjuri ともいう。 なう) jamatu suginu koz hagi (杉の皮をむく) ?iju nu koː hagi (魚の皮をむく) ねじれる ?iju nu ?ikki hagi (魚のうろこをはぐ) hari gani nu magati (針金がねじれる) ga∬u nu kara tsïn wari (貝の殻をむく) ti'da nu tsuzhan koz hagiri (日が強くて ひねる 皮がむける) kubi mawasi (首をひねる) hakkugëti çidza tsikki hadzi (転んで膝 tiː saniri (腕をひねる) をすりむく) dzagutsï ?ëːri (蛇口をひねる) ?innu kutsi hatiti tJan (犬が歯をむきだ つねる mumu tsinkiri saniratti (腿をつまんでひ はぐ ねられた) ?uːkadï sï jane Φukituba hatti (台風 で屋根ふきとばされて) かたむく kasagu k⁷u ratsi (かさぶたをはがした) kami nu kugëti (瓶がかたむく) tsïmï hagarïtï (爪がはがれた) tsïmï tsïkki sïndza (爪をうった) へこむ ?udunu koː hagasi (ふとんの皮をはがす) mïinu sikkudun (目がへこむ) pen ga hagïtï (ペンキがはげた) wata nu karituri (腹がへこむ) 7udu karagitan (ふとんをはぎとった) nusïdu (おいはぎ) くぼむ mitsï nu kubuduri (道がくぼんでいる) まがる hari nu magati (針がまがる) ほる kugi ga magati (釘がまがる) tsingjo: фuri (井戸をほる) çidza magiti (膝をまげる) nindgu фuri (溝をほる) hansin фuri (芋をほる) ためる taː фuri (田をつくる)

han фuri (印鑑をほる)

gara sikitamiri (竹をためる)

kaina na handzikja фuti ?ari (腕にいれ ずみをほる)

かれる

kusa ki nu kariti (草木がかれる)

しおれる

hanaga karïtï kjuri (花がしおれてくる) jasai ga sïrë∫uri (野菜が干魃でかれる)

しぼむ

hana nu k⁹uːrun (花がしぼむ)

つぼむ

kasa k⁷uːrun (傘をつぼめる)

しなびる

deːkuni ga koːratʃan (大根がしなびる)

やせる

duː nu toːriri (体がやせる)。toːriruri ともいう。

toːrituri (やせている) toːritʃu (やせた人)

かじかむ

tï ga kwaːturi (手がかじかんでいる)。 kwaːruri (かじかむ)

のばす

gumu sïppari (ゴムをのばす)

ふくれる

mutsi ga фukkwagati (餅がふくれる) фu:sen фukkwagati (風船をふくらます) kokomuri nu ?idʒitun (つぼみがでている) kokomuri は花のつぼみ一般にいう。 wata nu ?idʒitun (腹がでている)

はれる

tsïra nu ?ukabari (顔がはれる)
ti?asï ga фukkwëri (手足がはれる)
nibutu ga harïri (おできがはれる)
mïz ga фukkwëturi (目がはれる)
harimun (はれもの)。 фukkwïri (みみずばれ)

ふとる

konogoro ja kwëːtï (この頃はふとってい る)

7ueki nu φëːku nati (植木がふとる)

はる

wata φëa (腹がはる) tento hari (テントをはる) sasïn hari (写真をはる) ko:jaku hari (こうやくをはる)

むくむ

sïni nu фukkwïri (足がむくむ) tsïra nu ?ukabari (顔がむくむ)

ふやける

tī nu sīdzun (手がふやける) sīni nu sīdzun (足がふやける)。sīdzīkjun sīdzīkjuri ともいう。

こえる

nit√a nu kwëtun (土がこえている)

むくれる

tsïra фukkwïtun (顔がむくれている)

うむ

nibutu nu ?umjun (膿がうむ)。?udun (うんでいる)

kunin nu ?udun (みかんがうんでいる)

はらむ

jumi ga kaorowa (嫁がはらんでいる)

kaorowaは人間だけに用いられる。

kunu ?iju ja harami ?iju (この魚ははら み魚である)

?usi nu haraduri (牛がはらんでいる)

つかれる

kju:ja dariti (今日はつかれる)

(3) 着用の語彙

きる

jukata kiri (ゆかたをきる) k⁷in kiri (着物をきる)

はく

hakama haki (袴をはく) tabi sïgiri (足袋をはく)

かける

?udu kambi (ふとんをかける)
mïgani këːri (眼鏡をかける)
mïgani sïgiri (水中めがねをかける)
denwa këːri (電話をかける)

はめる

tïbukuro sïgiri (手袋をはめる) ?udidukei maki (腕時計をはめる) ?wï:bugani sïgiri (指輪をはめる)

かぶる

boːsï kambi (帽子をかぶる) kasa sasï (傘をさす) men kaburi (お面をかぶる)。 徳之島井之 川ではお面をかぶらない。

tsï ggjo midzï kambi (井戸の水をかぶる) madë barë (他人の借金をかぶる)

しめる

k²juːbi sǐ (帯をしめる)
k²juːbi k²uŋgi (帯をしめる)
?ukkan k²uŋgi sïː (はちまきをする)
nekutai k²uŋgi (ネクタイをしめる)
sanagi sïmiri (ふんどしをしめる)

つける

botan tsïkiri (ボタンをつける)
jadu na kagi tsïkiri (戸に鍵をつける)
karadzï na ?amba tsïkiri (頭に油をつける)

kidzï na ku∫uri tsïkiri (傷口に薬をつける)

7osïroi nuri (おしろいをつける) bïni tsïkiri (口紅をつける) 7in nu kusari tsïkiri (犬の鎖をつける)

さす

giːja sasï (かんざしをさす) haribuku na hari saʃi (針さしに針をさす) kïːnu ʔittsï (木のとげ)。 バラなどのと げ。

?ida nu ?ittsï (板のとげ) ?jun nigi (魚のとげ・小骨)

しく

mu∬u sïki (むしろをしく) dzabuton sïki (座ぶとんをしく) ?udu sïki (ふとんをしく) ?arasïna sïki (砂利をしく)

くるむ

ware ŋgwa tsïmbi (赤ちゃんをくるむ) ?an tsïmbi (あんこをくるむ)

まとう

kjuragin kiri (晴着をまとう) mi**x**gin (新しい着物)

むすぶ

sabanu hanawu tatiri (草履の紐をむすぶ) kudzï çimo k⁹umbi (靴紐をむすぶ) ~ k⁹ungiともいう。

haori nu wu: k⁷uŋgi (羽織の紐をむすぶ) 7obidzï mi sïmiri (帯をしめる) tï: tsïgjosa (手をむすぶ) sïni k⁷uŋgi (足をくびる)

つなぐ

?itʃuː tsïnagi (糸をつなぐ) Фuni k⁹uŋgi (舟をつなぐ)

tï: kungi (手をくびる)

ti: tsigjosa (手をつなぐ) ?in k[?]uggi (犬をつなぐ) ki: tsigi (木をつぐ)

すげる

?andʒa nu hanawu tatïri (下駄の鼻緒を すげる)

kama nu ji: sïgiri (鎌の柄をすげかえる)

つかむ

?juː miŋgi (魚をつかむ)
?ama ga maːri na sagari (母のまわりに すがる) juŋgamaraːn (うるさい)

つかまえる

nusï du miŋgi (どろぼうをつかまえる) mjau nu nïdzïmi tsïkadan (猫がねずみを つかまえる)

ゆう

karadzi jui (髪をゆう)

ゆわえる

nidzï kuri sï L (荷物をゆわえる)

たばねる

kusa k⁹uŋgi (草をたばねる)。k⁹uŋgjun, k⁹uŋgjuri ともいう。 tamun k⁹uŋgi (薪をたばねる) karadzï k⁹uŋgi (髪をたばねる)

つつむ

mandʒu tsïmbi (お菓子をつつむ) ts²umbjun, ts²umbjuriともいう。

?utsïkui sï tsïmbi (ふろしきでつつむ) かたづける sïgjutu sïmatsï (仕事をかたづける) たたむ jaː ∫oːdzï sïː (家をかたづける) ?utsïkui taquri (ふろしきをたたむ) k⁷in taguri (着物をたたむ) しまう kabi taguri (紙をたたむ) do I gu katats ï k ï r i (道具をしまう) kasa k⁹ui (傘をたたむ) (4) 火熱の語彙 もえる hai (灰) haidzimi (灰ずみ) mats inu mëzri (火がもえる) kunu tamun ja ju: më:run (この薪はよ あぶる くもえる) ?ikja ?aburi (するめをあぶる) gumi më:∫i (ごみをもやす) nori ?aburi (海苔をあぶる) kïːha mëːʃi (落葉をもやす) tiː koːsi (手をあぶる) kundu nu k⁷wadzi si jamuru mëtsan (こんどの火事で家をみなもやしてしまった) やく jama jaki (山をやく) t- < k⁷wadzi (火事) ?uban sï: (ご飯をたく) sumi jaki (炭やき) kaiban sï: (お粥をたく) tsibu jaki (壺やき) hansin ni: (芋をにる) tidasi hada jaki (日光で肌をやく) Фuro wakasi (風呂をたく) jat∫u jaki (炙をすえる) ?jux koxsï (魚をやく) つける mutsi jaki (餅をやく) taku na m⁷atsi tsikiri (たばこに火をつけ niku jaki (肉をやく) kuga jaki (卵をやく) doIsoku tsïkiri (ローソクをつける) hansin jaki (さつまいもをやく) jaki bansin (やき芋) おこす nigiri mïsï (おにぎり) rentan ?ukusï (練炭をおこす) karadadzu: jatJan (全身をやいた) sïdzïri (もえさし) jakedo (やけど) dz ïr ud z ïmi (すみ) m⁷atsi nu tsuːhatsi ʔiju jeŋgosi (火が ?ukiri (すみび) 強くて魚がこげる)

misi nu nandziki jakitsikiti (ご飯がこ せんじる kusuri sïdzïri (薬をせんじる) midzi nu sitsi nabi jakiwati (水がなく なって鍋をこがした) たぎる juI nu waki√i i giri (湯がたぎる) Pukiri hantutsi tatami jaki фugatsi (すみ火で畳をこがした) にる くべる ?iju waエ∫i (魚をにる) tamun sasïrï k⁹umi (薪をどんどんくべる) mami nix (豆をにる) sïru ?atsïrasï (汁をあたためる) あげる sïru tangi sïratsï (汁がにつまる) tempura jaki (てんぷらあげる) むす mamami mïsï ka∫iki (赤飯をむす) いためる tamana ?ikki (きゃべついためる) mamami (あずき) ka∫i ki (ふかしたごはん) ふかす いる mandgo: jaki (まんじゅうふかす) mami 7ikki (豆をいる) guma ?ikki (ごまをいる) むれる ?uban ?ïnsï (ご飯をむらす) わかす kjux wa ?uturusïka ?atsïan (今日はむれ ju wakasi (湯をわかす) るように暑い) tJa: waka si (お茶をわかす) Фuru wakasi (風呂をわかす) くすぶる sïru waisï (汁をわかす) gumi nu Фutsimoti mëzran (ごみがくすぶ ってもえない) ゆでる tamago judïri (卵をゆでる) けむる ?ibi judiri (海老をゆでる) tamun ga mëiran (薪がもえない) ゆがく あたる 7ikja judiri (鳥賊をゆがく) m⁷atsi nukumi (火にあたる) dekun judiri (大根をゆがく) ?atsïratsï kami (あたためてたべる)

?aː?in niː(里芋をにる)

あたためる

bento: nukumiri (べんとうあたためる)

(5) 飲食の語彙

たべる

?a∫i ja soːba kadi (昼食はそばをたべる) kami, kamjun, kamjuriともいう。

くう

?uban kadi (飯をくう) gaddʒan ni k[?]wattï (蚊にくわれた) sakï numi (酒をのむ) ?u∫i ga kusa kadu (牛が草をくっている) nïgan (寝嚙み)

のむ

midzï numi (水をのむ)
ku∫uri numi (薬をのむ)
sakï numi (酒をのむ)
suikwan tani kadi (西瓜のたねをのみこむ)
taku фuki (たばこをのむ)。 фukjun,
фukjuri ともいう。

? ju: nu mundani numik[?]udan (魚が餌をの みこむ)

かむ

gamu kaːsïŋgi (ガムをかむ) ?usïsï kaːsïŋgi (お肉をかむ) jagi ga kusa kami (山羊が草をかんでい る)

kaduri (かんでいる)

?uban kaːsïŋg juri (ご飯をよくかむ) ?inni k²wattï (犬にかまれた) madzïmunni k²watti (ハブにくわれた) habu ?atari sïともいう。

かじる

nama bansïn kami (生芋をかじる) nïdzïn nu hansïn kadijan(ねずみが芋をか じる)

?ujanu sïni kadziri (親のすねをかじる)

つつく

turiga mun sïroi (鳥が餌をつつく) ?ujaduri ga k[?]wakkui (親鶏がつつきはな す)

なめる

?amedama sïmbi (飴をなめる) sata nabïri (砂糖をなめる)

すう

tsïː kami (乳をすう) ?uː ʔiki ʃuːri (大息をすう)

すする

kaiban kami (お粥をすする) hana mumi (鼻をすする)

ふくむ

midzï kukumi (口に水をふくむ) ?amidama sïmbi (飴玉をなめる) sïmbjun, sïmbjuri, k[?]umjuriともいう。

語彙その3 形容詞語彙

```
taːka tindʒoː (高い天井)
nagaiha (長い) nagaihan ともいう。
 tëːtaka ?a∫i (長足)
                                    tax dxoxqutfi (高い入口)
 nagati (長手, どろぼう)
                                   si kuka (低い)
 naga?amï (長雨)
                                    sikuka ?iriquti (低い入口)
 nagajiri (長居)
                                   φukaha (深い)
                                   nangi si: (苦しい, 難儀する)
 nagajami (長痛)
 naga?iki (長生)
                                   kimu Vagëha (かわいそうである)
                                   darowa (だるい)。 darohanともいう。
 φuː ʔiki (大息)
tsikjaIha (短い)
                                   ?atsïha (暑い)。?atsïhanともいう。
                                    ?itfain ともいう。
 jempitsi ga tsikjaiha (鉛筆が短い)
                                   nukuha (暖い)。 nukuhari ともいう。
jamjun (痛い)
k<sup>2</sup>waihan (小さい)
                                   nukutamarasi (あたためる)
 k<sup>?</sup>waːka ?i ju (小さい魚)
                                   sigjoroha (寒い)。 sigjorohan,
φë zhan (大きい)
                                    sigjorohari ともいう。
 φëːka ?iju (大魚)
                                   tsïkkjagiri (水が冷たい)
 ?uː?iiu (大きい魚)
                                   sigjorohan (冷たい)
tsikjakhan (細い)
                                    sigjoro midzi (冷水)
 kwaihanともいう。
                                   jogoha (痒い)。 jogohan ともいう。
                                   hatsikoha (芒が背中などに入ったときのか
Φëzhan (太い)
?usiwa (薄い)。?usihanともいう。
                                   ゆい様子)
?atsiha (厚い)。?atsihanともいう。
                                    kïː qa tsïkati hatsïkoha (のげが付い
?ibaːhan (狭い)
                                    かゆい)
sïruːha (広い)。 sïruːhan ともいう。
                                   ?itJaha (痛い)
tsïkjaha (近い)。 tsïkjahan ともいう。
                                    ?ukkan ?itJaha (頭がいたい)
tuː ha (遠い)。 tuː han ともいう。
                                    wata ?itJaha (腹がいたい)
tuːtabi (遠旅)。 nagatabiともいう。
                                   garuha (軽い)
                                   ?ubuha (重い)
tuːhan kjoːde (遠い親戚)
?asaha (浅い)。 ?asahan ともいう。
                                    ni: nu ?ubuha (荷が重い)
talhan (高い)
                                   juwaha (弱い)
 ta khan jama (高い山)
                                    du: nu juwa ha (体が弱い)
 taːka kiː (高い木)
                                    karadaga juwati (体が弱る)
 taːka jaː (高い家)
```

```
tsï ka (強い)
                                   kuruha (黒い)。 kuru<sup>w</sup>aともいう。
  ʧuː ka tʧu (強い人)。 tsïː ka tʧu
                                   sidaIha (涼しい)
  ともいう。
                                   mïːsï kjarowa (まぶしい)
 m<sup>7</sup>aː ha (おいしい)
                                   kjora ha (美しい)。 kjorasa (美しさ)
  mun ga m<sup>9</sup>aː ha (食物がおいしい)
                                     kjora mun (美人)
 nidzïha (まずい)
                                    ?jassagë (みにくい)
  kamjummun ga nidzï ha (食物がまずい)
                                     ?jassagë mëire (不美人)
        (甘い)
                                   kuraha (暗い)
 ?amaha
 karahari (辛い)
                                    ?axgari (明るい)
                                    ?otoroha (恐ろしい)
  ku∫u nu karahari (こしょうが辛い)
  masu nu karahari (塩が辛い)
                                   nasakiroha ( やさしい )。 性質がやさしい
 sigahan (味が薄い)。味噌の味が少ないこ
                                     こと。
  ہ ع
                                    jasihan (易しい)
  sigan siru (味が薄い汁)
                                    jasihan (安い)
  siga tJa (薄い茶)
                                    nukuhan (ぬくい)
 si'ha (すっぱい)
                                    nuruhan (ぬるい)
 nigjaha ( 苦い)
                                     nuru jux (ぬるい湯)
 kusaha (くさい)
                                   mïdzïraha (面白い)
                                   nangï sïx (きつい, 難儀する)
 Фuruha (古い)
 mi kha (新しい)
                                     kjux ja nangi sita (今日は難儀した)
                                   kanaha (かわいい)
 kimut√agëha (悲しい)
 φëIhari (早い), dëIhaともいう。「速い」
                                     kanaha m<sup>7</sup>aqa (かわいい孫)
 にも用いる。
                                    ?wendaha (おとなしい)
 dunnahari (晩い)。「遅い」にも用いる。
                                     ?wendakkwa (おとなしい子)
 kusaha (臭い)。きたないにおい。
                                   wa!ha (若い)
 kabaha (香しい)。よいにおい。
                                   wassa (悪い)
 horraha (うれしい)。 harrahanともいう。
                                   kuwaha (堅い)
 midziraha (楽しい)
                                    ja!raha (柔かい)
  kju:nu ?undo:kwai ja midziraha (今
                                     jaːra mi∫i (柔かい飯)
    日の運動会は楽しい)
                                   kuiha (濃い)
 ?aːhan (赤い)
                                     kui mun (濃いもの)
 k<sup>7</sup>izroha (黄色い)
                                    sigahan (薄い)
 ?aowa (青い)。「緑」も同じ。「芽」は
                                     sigatfa (薄茶)
  wakamï.
                                     siga ?iro (薄色)
 sïru<sup>w</sup>a (白い)
                                    juta:ha (良い)
```

```
?i∫ugaha (忙しい)
  sigutu nu ?i∫ugahan (仕事が忙しい)
hatsikaha (恥しい)
sïigoroha (むつかしい)
           (淋しい)
tudinahan
 k<sup>?</sup>wa nu wuradan tudinaha (子がいな
   なくて淋しい)
midziraha (珍しい)
jungamaraha (うるさい)
φëľha (早い,速い)
kissaneha (きたない)
 kissanehan k<sup>7</sup>in (きたない着物)
Çirattai mun (平たいもの)
 mato! (平担なところ)
?uramike (うらやましい)。 ?uramiha と
 もいう。
maruha (丸い)
kibuha (煙い)。 kibuhan ともいう。
ki mutsi juta kha (気持がよい)
```